2）林道事業の場合

表2.2　作業機械の選定（林道事業）

作業区分				（地山）掘削	（地山）掘削積込	（ルーズ）掘削積込	運搬	~~盛土敷均し~~	~~盛土締固め（舗装前提の路床）~~	~~盛土締固め（路体）~~
		地山横断勾配	土質							
施工土量 5000m3未満		2割未満	土砂	バックホウ 山積0.45m3（平積0.35m3）	バックホウ 山積0.45m3（平積0.35m3）		ダンプトラック又は不整地運搬車	~~表2.3~~	~~表2.3~~	~~表2.3~~
			岩石	01-03-010		バックホウ 山積0.45m3（平積0.35m3）				
		2割以上	土砂	バックホウ 山積0.45m3（平積0.35m3）		バックホウ 山積0.45m3（平積0.35m3）				
			岩石	01-03-010		バックホウ 山積0.45m3（平積0.35m3）				
施工土量 5000m3以上	制限あり	2割未満	土砂	バックホウ 山積0.45m3（平積0.35m3）	バックホウ 山積0.45m3（平積0.35m3）		ダンプトラック又は不整地運搬車	~~表2.3~~	~~表2.3~~	~~表2.3~~
			岩石	01-03-010		バックホウ 山積0.45m3（平積0.35m3）				
		2割以上	土砂	バックホウ 山積0.45m3（平積0.35m3）		バックホウ 山積0.45m3（平積0.35m3）				
			岩石	01-03-010		バックホウ 山積0.45m3（平積0.35m3）				
	制限なし	2割未満	土砂	バックホウ 山積0.8m3（平積0.6m3）	バックホウ 山積0.8m3（平積0.6m3）		ダンプトラック又は不整地運搬車	~~表2.3~~	~~表2.3~~	~~表2.3~~
			岩石	01-03-010		バックホウ 山積0.8m3（平積0.6m3）				
		2割以上	土砂	バックホウ 山積0.8m3（平積0.6m3）		バックホウ 山積0.8m3（平積0.6m3）				
			岩石	01-03-010		バックホウ 山積0.8m3（平積0.6m3）				

注　1　現場条件等により、本表により難い場合は別途考慮すること。

2　作業区分の施工土量とは、切土総数量（掘削土量）によること。

3　作業区分の制限は、制限あり：~~全幅員3.6m以下~~林業専用道、制限なし：~~全幅員3.6m超え~~林道とする。

※上記により作業機械（バックホウ）を選定した場合、現場条件の内容区分は「障害なし」を適用。

4　岩石の掘削は、01-03-010の岩石掘削工法の選定によること。

5　バックホウ掘削・積込経費に平均距離10ｍが含むものとし、縦断流用による距離20ｍ以上のダンプトラック運搬等の場合には、距離10ｍを差し引くものとすること。

6　運搬は、バックホウとダンプトラックによる組合せを標準とするが、機械の走行性等が確保できない場合は、不整地運搬車を適用することができる。

01-01-030 林道事業における盛土（1）

1 適用範囲及び施工概要

（1） 適用範囲

本歩掛は、以下の林道事業における路体・路床・築堤の盛土に適用する。

なお、整地作業には適用しない。

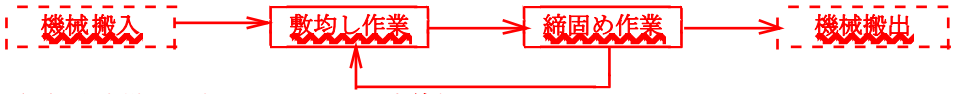
1）施工幅員が2.5m以上4.0m未満の工事

2）施工幅員が4.0m以上かつ施工土量が5,000㎥未満の工事

注 1 施工幅員は全幅員によること。

2 林業作業用施設には適用しないこと。

（2） 施工概要（施工フロー）



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

2 機種の選定

機種・規格は、次表を標準とする。

表2．1 機種の選定

工種	施工幅員	施工土量	作業区分	機 種	規 格
路体 築堤 路床	2.5m以上 4.0m未満	－	敷均し	バックホウ （クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 （2014年規制）山積0.45㎥（平積0.35㎥）
			締固め	振動ローラ	ハンドガイド式 0.5～0.6t
	4.0m以上	5,000㎥ 未満	敷均し	バックホウ （クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型 （2014年規制）山積0.45㎥（平積0.35㎥）
			締固め	振動ローラ	排出ガス対策型（第3次基準値） 搭乗式・コンバインド型 3～4t

注 1 機種の選定に当たり、上表により難い場合は、別途考慮する。

2 上表で示す施工土量は、盛土総数量である。（林業作業用施設等の盛土は除く。）

3 振動ローラは賃料とする。

3 施工歩掛

日当たり施工量は、次表を標準とする。

表3．1 路体（築堤）盛土

（1日当たり）

施工幅員	施工土量	障害の有無	単位	数 量
2.5m以上4.0m未満	－	－	㎥	40
4.0m以上	5,000㎥未満	障害なし	〃	167
		障害あり	〃	98

注 1 上表は締固め後の土量である。

2 敷均し・締固め作業の一連の仕上り厚は30cm以下とする

3 障害の有無については、01-01-210 ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削（一般土工）の（注）2 現場条件によるものとする。

（障害なし：林道、障害あり：林業専用道）

表３．２ 路床盛土

（１日当たり）

施工幅員	施工土量	障害の有無	単位	数 量
2.5m以上4.0m未満	－	－	m³	33
4.0m以上	5,000m³未満	障害なし	〃	136
		障害あり	〃	77

注 １ 上表は締固め後の土量である。
２ 敷均し・締固め作業の一連の仕上り厚は20cm以下とする。
３ 障害の有無については、01-01-210 ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削（一般土工）の（注）２ 現場条件によるものとする。

４ 補助労務

路体（築堤）盛土及び路床盛土の補助労務は、次表を標準とする。

表４．１ 機械補助労務

（人/100 m³当たり）

名 称	単 位	数 量
普 通 作 業 員	人	0.2

５ 単価表

（１）路体（築堤）盛土、路床盛土 100 m³当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
普 通 作 業 員		人		表４．１
バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）山積0.45 m³（平積 0.35 m³）	日	100／D	表３．１、表３．２
振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.5～0.6t 又は排出ガス対策型（第３次 基準値）搭乗式・コンバインド型 3～4t	日	100／D	〃
計				

（注） D：日当たり施工量

（２）機械運転単価表

機 械 名	規 格	指 定 事 項	適用機械工歩掛
バックホウ（クローラ型）（敷均し）	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）山積0.45 m³（平積 0.35 m³）	運転労務数量→1.00 燃料消費量→69 機械損料数量→1.64	02-01-245
振動ローラ（締固め）	ハンドガイド式 0.5～0.6t	運転労務数量→1.00 燃料消費量→12 機械賃料数量→1.71	02-01-225
振動ローラ（締固め）	排出ガス対策型（第３次基準値）搭乗式・コンバインド型 3～4t	運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械賃料数量→1.86	02-01-226

01-01-031 林道事業における盛土（2）

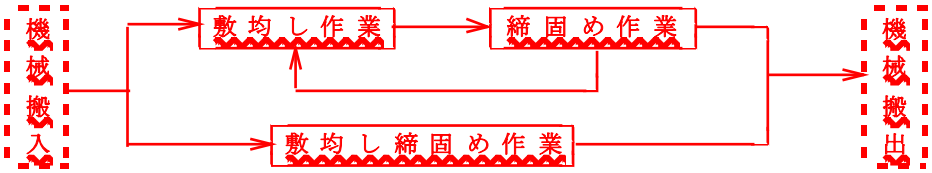
1 適用範囲及び施工概要

（1） 適用範囲

本歩掛は、林道事業（施工土量 5,000 ㎥未満）を除く施工幅員が 4.0m以上の路体・路床・築堤に伴う敷均し締固め作業に適用する。

なお、整地作業には適用しない

（2） 施工概要（施工フロー）



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

2 機種の選定

機種・規格は次表を標準とする。

表2.~~1~~3 盛土機械の選定（林道事業）

施工幅員	区分	施工数量	敷均し締固め機械・機種	
			敷均し	締固め
4．0m以上	路体 築堤	10,000m3未満	ブルドーザ 15t級	~~ブルドーザ15t級~~ タイヤローラ8～20t級
		10,000m3以上	ブルドーザ 21t級	~~ブルドーザ21t級~~ タイヤローラ8～20t級
		~~ドロナビリティが不足して普通ブルドーザが使用出来ない場合等~~	~~湿地ブルドーザ 16t級~~	~~湿地ブルドーザ 16t級~~
	路床	10,000m3未満	ブルドーザ 15t級	タイヤローラ 8～20t級
		10,000m3以上	ブルドーザ 21t級	タイヤローラ 8～20t級
~~※2．5m以上 4．0m未満~~	~~路体~~	~~＝~~	~~振動ローラ・コンバインド式 3～4t バックホウ山積み0.28m3（平積み0.2m3）~~	
	~~路床~~	~~＝~~	~~振動ローラ・コンバインド式 3～4t バックホウ山積み0.28m3（平積み0.2m3）~~	
~~※2．5m未満~~	~~路体~~	~~＝~~	~~振動ローラ・ハンドガイド式 0.8～1.1t~~	
	~~路床~~	~~＝~~	~~振動ローラ・ハンドガイド式 0.8～1.1t~~	

注 1 現場条件等により、本表により難い場合は別途考慮すること。

~~2 ※は「20 施工パッケージ No.4路体（築堤）盛土、No.5 路床盛土」による。~~

~~3~~2 施工幅員は全幅員によること。

~~なお~~ただし、林業作業用施設~~の~~は~~施工幅員~~上表を適用するものとする。~~は、施設上部の横断幅によること。~~

~~4~~3 施工数量とは、盛土総数量によること。（林業作業用施設等の盛土は除く。）

3）機械損料の補正

岩石工に係る機械損料の補正は、01－03－020によるものとする。

(参考)ブルドーザの作業能力

1　ブルドーザによる掘削押土作業の機種選定（掘削押土作業）

工~~事業~~施工区間の横断方向の平均地山勾配が2割未満におけるブルドーザによる掘削押土作業は、次の機種を標準とする。

参考表１　ブルドーザの適用機種の標準（掘削押土作業）

作業の種類	作業の内容	ブルドーザの機種
掘削押土	10,000 m3未満 （施工幅員 4.0m以上）	普通・排出ガス対策型（第１次基準値）15t級 対象土量が少ない場合は11t級
	10,000 m3以上 30,000 m3未満	湿地・排出ガス対策型（第１次基準値）20t級

2　１時間当たり土工量（ＶＢ）

１時間当たり土工量の算定式は、次のとおりとする。

$$V_B = \frac{60}{C_m} \times q \times E \quad (m3/h)$$

ｑ＝１サイクル当たり掘削押土量（ｍ3）

Ｅ＝作業効率

Ｃｍ＝１サイクル所要時間（min）

3　１サイクル当たり地山掘削押土量（ｑ）

$q = 0.457BH^2$ （m3）

Ｂ：土工板の幅（ｍ）

Ｈ：土工板の高さ（ｍ）

各規格に対するｑの値は下表のとおりとする。下表以外の場合には、上記式を用いて算出することができる。

規格	ｑ（m3）
11t級	1.28
15t級	1.73
20t級	－

4　１サイクル当たりの所要時間（Ｃｍ）

（１）　山地治山工

ア）　掘削押土作業

$C_m = 0.025\ell + 0.66$ (min)

ℓ：平均掘削押土距離（ｍ）

イ）　掘削押土敷均し作業

$C_m = 0.036\ell + 0.45$ (min)

ℓ：平均掘削押土距離（ｍ）

備考　転圧を伴う作業には適用しない

（２）　一般土工

掘削押土作業

$C_m = 0.027\ell + 0.78$ (min)

ℓ：平均掘削押土距離（ｍ）

(注) 上記サイクルタイムは、転圧を伴わない掘削押土敷ならし作業にも適用できる。

5　作業効率（E）

（1）　山地治山工（A）

現場条件 / 土　質	地山の掘削押土			ルーズな状態の土砂押土		
	良　好	普　通	不　良	良　好	普　通	不　良
砂・砂質土	0.65	0.50	0.35	0.70	0.55	0.40
粘性土・礫質土	0.55	0.40	0.25	0.60	0.45	0.30
岩塊・玉石	0.45	0.30	0.15	0.50	0.35	0.20
軟岩（Ⅰ）A	0.45	0.30	0.15	－	－	－
破　砕　岩	－	－	－	－	0.25	0.15

（注）1　作業現場が広く（土工板幅の３倍以上）トラフィカビリティや地盤の凹凸を考慮してスリップ等がなく、また下り勾配等で作業速度が十分期待できる条件がそろっている場合は良好~~を~~とする。

2　作業現場が狭く、地盤状況を考慮してスリップやぬかるみが多く、また上り勾配等で作業速度を阻害する条件がそろっている場合は不良とする。

3　作業現場が広いが作業速度が期待できない場合、作業現場が狭い(土工板幅の３倍未満)が作業速度が十分期待できる場合等、上記の諸条件がほぼ中位と考えられる場合は普通~~を~~とする。

・ルーズ状態の土砂押土

上記の諸条件のうち、地山の条件を除いた他の条件を勘案して決定する。

4　破砕岩とは、中硬岩及び硬岩を破砕したものである。

5　軟岩をリッピングしたものは、リッピング後の状態を考慮し、その状態に応じた土質の値とする。

（2）　山地治山工（B）

現場条件 / 土　質	地山の掘削押土			ルーズな状態の土砂押土		
	良　好	普　通	不　良	良　好	普　通	不　良
砂・砂質土	0.70	0.55	0.40	0.75	0.60	0.45
粘性土・礫質土	0.60	0.45	0.30	0.65	0.50	0.35
岩塊・玉石	0.50	0.35	0.20	0.55	0.40	0.25
軟岩（Ⅰ）A	0.50	0.35	0.20	－	－	－
破　砕　岩	－	－	－	－	0.30	0.20

（注）　（1）の注１～５に同じ。

（3）　一般土工

現場条件 / 土　質	地山の掘削押土			ルーズな状態の土砂押土		
	良　好	普　通	不　良	良　好	普　通	不　良
砂・砂質土	0.85	0.80	0.75	0.90	0.85	0.80
粘性土・礫質土	0.70	0.65	0.60	0.75	0.70	0.65
岩塊・玉石	0.50	0.45	0.40	0.55	0.50	0.45
軟岩（Ⅰ）A	0.50	0.45	0.40	－	－	－
破　砕　岩	－	－	－	0.55	0.50	0.45

（注）1　現場条件の内容

・地山の掘削押土

良好：作業現場が広く（土工板幅の３倍以上)、しかも地山が~~緩かる~~いうえ、下り勾配等で作業速度が十分期待できる場合。

不良：作業現場が狭く（土工板幅の２倍以下)、しかも地山が固いうえ、上り勾配等で作業速度が阻害される場合。

普通：上記の諸条件がほぼ中位と考えられる場合。

・ルーズな状態の土砂押土

上記の諸条件のうち、地山の条件を除いた他の条件を勘案して決定する。

2　軟岩をリッピングしたものはリッピング後の状態を考慮し、その状態に応じた土質の値とする。

3　破砕後の軟岩（Ⅰ）Ｂ及び軟岩Ⅱは礫質土として本表を適用すること。

なお、破砕岩とは、中硬岩及び硬岩を破砕したものである。

01－01－035　敷均し作業補助労務（SPR301）

（100m3当たり）

機種／名称	単　位	３ｔブル	路　体		舗装前提の路床
			11ｔブル 15ｔブル 21ｔブル	湿地13ｔブル 湿地16ｔブル	11ｔブル 15ｔブル 21ｔブル
普通作業員	人	0.3	0.2	0.2	0.3

01－01－040～050　盛土敷均し・締固め

道路工事等の路体の敷均し及び締固め、もしくはこれに準ずるものに適用する。

01－01－040　盛土敷均し（SPR301）

1　敷均し機械の作業能力

(1) 路体・路床等の工事において、施工幅員が４ｍ以上の場合（標準機種が適用可能な場合）
機械運転１時間当たりの作業量は次式による。

・ブルドーザによる敷均し土量Q1（m3／ｈ）……表4.1

Q1＝10E（A×D＋B）　(m3／ｈ)

Q1　：時間当たり敷均し土量　(m3／ｈ)

D　：仕上り厚さ　(m)

E　：作業効率（良好0.8、普通0.6、不良0.4であり、標準は0.6）

A、B：敷均し係数

(2) 路体・路床等の工事において、施工幅員が４ｍ未満の狭隘な箇所の場合（標準機種が適用不可能な場合）
機械運転１日当たりの作業量は次による。

・３ｔブルドーザによる敷均し土量Q2（m3／日）……表4.2

2　作業効率及び敷均し土量

(1) 標準機種が適用可能な場合の作業効率及び敷均し土量（Q1）

表2.1　作業効率及び敷均し土量（施工幅４ｍ以上）

機　種	区　分	E	A	D	B	Q1	算　定　式
11ｔブル	路　体	0.60	11	0.30	8	67.8	10×0.60（11×0.3＋8）
	舗装路床	0.60	11	0.20	8	61.2	10×0.60（11×0.2＋8）
※15ｔブル	路　体	0.60	13	0.30	9	77.4	10×0.60（13×0.3＋9）
	舗装路床	0.60	13	0.20	9	69.6	10×0.60（13×0.2＋9）
※21ｔブル	路　体	0.60	18	0.30	13	110.4	10×0.60（18×0.3＋13）
	舗装路床	0.60	18	0.20	13	99.6	10×0.60（18×0.2＋13）
湿地13ｔブル	路　体	0.55	10	0.30	8	60.5	10×0.55（10×0.3＋8）
湿地16ｔブル	路　体	0.55	13	0.30	9	71.0	10×0.55（13×0.3＋9）

※は「林道事業における盛土（2）」に適用する。

(2) 標準機種が適用不可能な場合の敷均し土量（Q2）（SPR302）

表2.2　敷均し土量（Q2）

機　種	区　分	D	Q2
３ｔブル	狭隘部	0.20～0.30	130

備考　本表は、標準機種では施工が困難な狭隘箇所の場合に適用する。

3　施工歩掛

(1) 標準機種が適用可能な場合（SPR301）

表3.1　標準機種における盛土敷均し歩掛　　(100m3当たり)

区分	機種 / 名称	単位	11ｔブル（1次基準値）	15ｔブル（1次基準値）	21ｔブル（1次基準値）	湿地 13ｔブル（1次基準値）	湿地 16ｔブル（1次基準値）
路体	ブルドーザ運転	h	1.47	1.29	0.91	1.65	1.41
	普通作業員	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
	計						
路床	ブルドーザ運転	h	1.63	1.44	1.00	－	－
	普通作業員	人	0.30	0.30	0.30	－	－
	計						

備考１　路床は、舗装前提の路床である。
　　２　普通作業員は、敷均し作業における補助労務（01－01－035）である。
　　３　本表は、仕上がり数量に対して適用する。

(2) 標準機種が適用不可能な場合（SPR302）

表3.2　３ｔブルにおける盛土敷均し歩掛　　(100m3当たり)

区分	機種 / 名称	単位	３ｔブル（1次基準値）
路体＋舗装前提の路床	ブルドーザ運転	日	0.77
	普通作業員	人	0.30
	計		

備考１　普通作業員は、敷均し作業における補助労務（01－01－035）である。
　　２　本表は、仕上り数量に対して適用する。
　　３　３ｔブルドーザは、山地治山土工における施工幅員が2.5m以上4.0m未満の標準機種では施工が困難な狭隘箇所に適用する。
　　４　施工幅員が2.5m未満の狭隘箇所の敷均しは、「01－02－250 人力盛土（埋戻し）」による。

4　機械運転単価表（SPR302）

ブルドーザ（３ｔ）運転（1次基準値）（1日当たり）

名称	単位	数量	適用機械工歩掛
運転手（特殊）	人	1.00	02－01－220
軽油	ℓ	24~~25~~	
機械損料	供用日	1.58~~1.56~~	

01－01－045　盛土締固め（SPR301）

1　締固め機械の作業能力

(1) 路体・路床等の工事において、施工幅員が４ｍ以上の場合（標準機種が適用可能な場合）
機械運転１時間当たりの作業量は次式による。

・ブルドーザ・タイヤローラによる締固め土量Q3（m3／ｈ）……表4.5

$$Q3 = \frac{V \times W \times D \times E}{N} \quad (m3／h)$$

・作業量を締固め面積（m2／ｈ）で表す場合

$$A = \frac{V \times W \times E}{N} \quad (m2／h)$$

Q3　：運転１時間当たり締固め土量（m3／ｈ）
Q4　：日当たり締固め土量（m3／日）
A　：運転１時間当たり締固め面積（m2／ｈ）
V　：締固め速度（ｍ／ｈ）
W　：１回の有効締固め幅（ｍ）
D　：仕上り厚さ（ｍ）
N　：締固め回数
E　：作業効率　　ブルドーザ……Ｅ＝0.4～0.8（標準値0.6）
　　タイヤローラ……Ｅ＝0.2～0.6（標準値0.4）

(2) 路体・路床等の工事において、施工幅員が４ｍ未満の狭隘な箇所の場合（標準機種が適用不可能な場合）
・振動ローラによる締固め土量Q4（m3／日）……表2.2

2　作業効率、標準作業量及び施工歩掛（SPR301）

(1) 標準機種が適用可能な場合

表2.1　標準機種における作業効率、標準作業量及び盛土締固め歩掛

機　　種	区　分	V	W	D	N	E	Q3	h／100m3
11ｔブル	路　　体	3,500	0.7	0.3	5	0.60	88.2	1.13
※8～20ｔタイヤローラ	路　　体	3,500	1.8	0.3	5	0.40	151.2	0.66
	舗装前提路床	3,500	1.8	0.2	7	0.40	72.0	1.39
15ｔブル	路　　体	3,500	0.8	0.3	5	0.60	100.8	0.99
	舗装前提路床	3,500	0.8	0.2	7	0.60	48.0	2.08
21ｔブル	路　　体	3,500	0.9	0.3	4	0.60	141.8	0.71
	舗装前提路床	3,500	0.9	0.2	6	0.60	63.0	1.59
湿地13ｔブル	路　　体	3,500	1.3	0.3	5	0.40	109.2	0.92
湿地16ｔブル	路　　体	3,500	1.6	0.3	5	0.40	134.4	0.74

備考　1　（第１次基準値）タイヤローラー 8～20t・11t、15t、21t、湿地13t、湿地16ブルドーザー
2　※は「林道事業における盛土（2）」に適用する。

(2) 標準機種が適用不可能な場合（SPR303）

表2.2　振動ローラにおける標準作業量及び盛土締固め歩掛

機　　種	区　分	D	Q4	日／100m3
振動ローラ（第3～次基準値）搭乗式・コンバインド型 3～4ｔ	路　　体	0.3	86	1.16
	舗装前提路床	0.2	78	1.28
振動ローラ ハンドガイド式 0.8～1.1ｔ	路　　体	0.3	50	2.00
	舗装前提路床	0.2	43	2.33

備考１　振動ローラは~~路体・路床・築堤等の~~、山地治山土工における施工幅員が4.0ｍ未満の路体・路床・築堤等で標準機種では施工が困難な狭隘箇所に適用する。
なお、整地作業には適用しない。

2　振動ローラは賃料とし、規格は次のとおりとする。

機　　種	規　　格	施　工　幅　員
振動ローラ	搭乗式・コンバインド型式・排出ガス対策型（第3～1次基準値）　3～4 t	2.5～1.0m ≦W＜4.0m
	ハンドガイド式 0.8～1.1 t	W＜2.5～1.0m

3　機械運転単価表（SPR303）

振動ローラ運転　（1日当たり）

名　　称	単　位	搭乗式・ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型式排出ガス対策型（第3～1次基準値）3～4 t 級	適用機械工歩掛
運転手（特殊）	人	1.00	02－01－222
軽　　油	ℓ	17～15	
機　械　賃　料	供用日	1.60	

振動ローラ運転　（1日当たり）

名　　称	単　位	ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式型 0.8～1.1 t 級	適用機械工歩掛
特 殊 作 業 員	人	1.00	02－01－224
軽　　油	ℓ	6.1～5.3	
機　械　賃　料	供用日	1.44	

01－01－050　盛土敷均し・締固め合成作業（SPR301）

①　合成作業量

ブルドーザで盛土敷均し作業を行いながら締固め作業を行う場合の機械運転1時間当たり合成作業量は、次式による。

$$QT = \frac{Q1 \times Q3}{Q1 + Q3} \quad (m3／h)$$

QT　：運転1時間当たり敷均し締固め作業量　(m3／h)
Q1　：運転1時間当たり締固め作業量　(m3／h)
Q3　：運転1時間当たり敷均し作業量　(m3／h)

（１）盛土敷均し・締固めの複合作業量（QT）及び施工歩掛

本表は、施工幅員が４ｍ未満の標準機種での施工が困難な狭隘箇所の場合に適用する。

表1.1　標準機種が不可能な場合の複合作業歩掛

（100m3当たり）

敷均し及び締固め機種	区　　分	敷　均　し　作　業					締　固　め　作　業				複合作業（QT）
		敷均し機　種	作業効率（E）	作業量 Q2 (m3/日)	作業時間 (日/100m3)	普　通 作業員 (人)	締固め機種	作業効率（E）	作業量 Q4 (m3/日)	作業時間 (日/100m3)	
人力盛土＋振動ローラ 0.8～1.1ｔ	路　　体 (W＜~~1.0~~2.5m)	人　力 盛　土					ハンドガイド式 振動ローラ 0.8～1.1ｔ		50	2.00	複合作業＝ 人力盛土＋Q4
	舗装前提の路床 (W＜~~1.0~~2.5m)	人　力 盛　土					ハンドガイド式 振動ローラ 0.8～1.1ｔ		43	2.33	複合作業＝ 人力盛土＋Q4
人力盛土＋振動ローラ ３～４ｔ	路　　体 (~~1.0~~2.5≦W＜~~2.5~~4.0m)	人　力 盛　土					搭乗式・ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型~~式~~ 振動ローラ３～４ｔ 排出ガス対策型 (第3~~1~~次基準値)		86	1.16	複合作業＝ 人力盛土＋Q4
	舗装前提の路床 (~~1.0~~2.5≦W＜~~2.5~~4.0m)	人　力 盛　土					搭乗式・ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型~~式~~ 振動ローラ３～４ｔ 排出ガス対策型 (第3~~1~~次基準値)		78	1.28	複合作業＝ 人力盛土＋Q4
３ｔブル＋振動ローラ ３～４ｔ	路　　体 (2.5≦W＜4.0m)	３　ｔ ブ　ル		130.0	0.77	0.30	搭乗式・ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型~~式~~ 振動ローラ３～４ｔ 排出ガス対策型 (第3~~1~~次基準値)		86	1.16	複合（QT）＝ （Q2＋Q4）
【山地治山土工】	舗装前提の路床 (2.5≦W＜4.0m)	３　ｔ ブ　ル		130.0	0.77	0.30	搭乗式・ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型~~式~~ 振動ローラ３～４ｔ 排出ガス対策型 (第3~~1~~次基準値)		78	1.28	複合（QT）＝ （Q2＋Q4）

備考　人力盛土は、「20　施工パッケージ No.20 埋戻し」による。

（２）盛土敷均し・締固めの合成作業量（QT）及び施工歩掛

本表は、01－01－040の盛土敷均し作業（Q1）と01－01－045の盛土締固め作業（Q3）を合成したものである。ただし、合成作業とは、前記①に記載のとおり、敷均し作業及び締固め作業が双方とも同機種（同規格）で施工する場合をいう。なお、前記以外は、複合作業となる。

表1.2　標準機種が適用可能な場合の合成作業歩掛　(100m3)

敷均し及び締固め機種	区　分	敷均し作業					締固め作業				合成作業（QT）		
		敷均し機種	作業効率（E）	作業量Q1（m3/h）	作業時間（h/100m3）	普通作業員（人）	締固め機種	作業効率（E）	作業量Q3（m3/h）	作業時間（h/100m3）	合成作業量QT（m3/h）	合成作業時間（h/100m3）	普通作業員（人）
11ｔブル＋11ｔブル	路　体	11ｔブル	0.60	67.8	1.47	0.20	11ｔブル	0.60	88.2	1.13	38.3	2.61	0.20
11ｔブル＋8～20ｔﾀｲﾔﾛｰﾗ	路　体	11ｔブル	0.60	67.8	1.47	0.20	8～20ｔﾀｲﾔﾛｰﾗ	0.40	151.2	0.66	複合（QT）＝（Q1＋Q3）		
~~11ｔブル＋8～20ｔﾀｲﾔﾛｰﾗ~~	舗装前提の路床	11ｔブル	0.60	61.2	1.63	0.30	8～20ｔﾀｲﾔﾛｰﾗ	0.40	72.0	1.39	複合（QT）＝（Q1＋Q3）		
15ｔブル＋15ｔブル	路　体	15ｔブル	0.60	77.4	1.29	0.20	15ｔブル	0.60	100.8	0.99	43.8	2.28	0.20
	舗装前提の路床	15ｔブル	0.60	69.6	1.44	0.30	15ｔブル	0.60	48.0	2.08	28.4	3.52	0.30
※15ｔブル＋8～20ｔﾀｲﾔﾛｰﾗ	路　体	15ｔブル	0.60	77.4	1.29	0.20	8～20ｔﾀｲﾔﾛｰﾗ	0.40	151.2	0.66	複合（QT）＝（Q1＋Q3）		
~~15ｔブル＋8～20ｔﾀｲﾔﾛｰﾗ~~	舗装前提の路床	15ｔブル	0.60	69.6	1.44	0.30	8～20ｔﾀｲﾔﾛｰﾗ	0.40	72.0	1.39	複合（QT）＝（Q1＋Q3）		
21ｔブル＋21ｔブル	路　体	21ｔブル	0.60	110.4	0.91	0.20	21ｔブル	0.60	141.8	0.71	62.1	1.61	0.20
	舗装前提の路床	21ｔブル	0.60	99.6	1.00	0.30	21ｔブル	0.60	63.0	1.59	38.6	2.59	0.30
※21ｔブル＋8～20ｔﾀｲﾔﾛｰﾗ	路　体	21ｔブル	0.60	110.4	0.91	0.20	8～20ｔﾀｲﾔﾛｰﾗ	0.40	151.2	0.66	複合（QT）＝（Q1＋Q3）		
~~21ｔブル＋8～20ｔﾀｲﾔﾛｰﾗ~~	舗装前提の路床	21ｔブル	0.60	99.6	1.00	0.30	8～20ｔﾀｲﾔﾛｰﾗ	0.40	72.0	1.39	複合（QT）＝（Q1＋Q3）		
湿地13ｔブル＋湿地13ｔブル	路　体	湿地13ｔブル	0.55	60.5	1.65	0.20	湿地13ｔブル	0.40	109.2	0.92	38.9	2.57	0.20
湿地16ｔブル＋湿地16ｔブル	路　体	湿地16ｔブル	0.55	71.0	1.41	0.20	湿地16ｔブル	0.40	134.4	0.74	46.5	2.15	0.20

備考　1　（第１次基準値）：タイヤローラー 8～20t・11t、15t、21t、湿地13t、湿地16ブルドーザー

2　※は「林道事業における盛土（２）に適用する。

01－01－200　バックホウ掘削（治山事業）（SPK102）

(1) バックホウ掘削（掘削・積込み、積込み）~~日当たり作業量~~

バックホウ掘削による各作業の日当たり作業量は、次表を標準とする。

表1.1　日当たり作業量（治山事業）

（１日当たり）

作業種別	制限の有無	山地治山工区分	工種区分	名称	規格	土質名	単位	数量		
								良好	普通	不良
地山の掘削・積込	あり	A	渓間工	バックホウ（クローラ型）運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45m3（平積0.35m3）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m3	97	84	67
						岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A	m3	77	67	48
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m3	67	58	48
						岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A	m3	48	42	39
		B	渓間工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m3	110	96	77
						岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A	m3	86	75	58
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m3	77	67	58
						岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A	m3	58	50	48
	なし	A	渓間工	バックホウ（クローラ型）運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.80m3（平積0.6m3）	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m3	170	148	120
						岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A	m3	130	113	84
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m3	120	104	84
						岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A	m3	84	73	67
		B	渓間工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m3	180	157	130
						岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A	m3	150	131	100
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土	m3	130	113	100
						岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A	m3	100	87	84

作業種別	制限の有無	山地治山工区分	工種区分	名称	規格	土質名	単位	数量		
								良好	普通	不良
ルーズな状態の積込	あり	A	渓間工	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)山積0.45m3(平積0.35m3)	砂・砂質土・粘性土・礫質土~~・軟岩(Ⅰ)A~~	m3	110	96	77
						岩塊・玉石	m3	86	75	58
						破砕岩	m3	67	58	39
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土~~・軟岩(Ⅰ)A~~	m3	77	67	58
						岩塊・玉石	m3	58	50	48
						破砕岩	m3	39	34	28
		B	渓間工			砂・砂質土・粘性土・礫質土~~・軟岩(Ⅰ)A~~	m3	120	104	86
						岩塊・玉石	m3	97	84	67
						破砕岩	m3	77	67	48
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土~~・軟岩(Ⅰ)A~~	m3	86	75	67
						岩塊・玉石	m3	67	58	58
						破砕岩	m3	48	42	39
	なし	A	渓間工	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)山積0.80m3(平積0.6m3)	砂・砂質土・粘性土・礫質土~~・軟岩(Ⅰ)A~~	m3	180	157	130
						岩塊・玉石	m3	150	131	100
						破砕岩	m3	120	104	67
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土~~・軟岩(Ⅰ)A~~	m3	130	113	100
						岩塊・玉石	m3	100	87	84
						破砕岩	m3	67	58	50
		B	渓間工			砂・砂質土・粘性土・礫質土~~・軟岩(Ⅰ)A~~	m3	200	174	150
						岩塊・玉石	m3	170	148	120
						破砕岩	m3	130	113	84
			山腹工			砂・砂質土・粘性土・礫質土~~・軟岩(Ⅰ)A~~	m3	150	131	120
						岩塊・玉石	m3	120	104	100
						破砕岩	m3	84	73	67

(注) 1　制限の内容

制限あり：狭隘で旋回範囲に制限があり、ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3（平積0.6m3）における作業が困難な場合

制限なし：ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3（平積0.6m3）での作業が可能な場合

2　現場条件の内容

良好：作業現場が広く、掘削深さが最適であり、地山が緩んでいて、かつ作業妨害が少なく連続作業が可能等の良好な現場条件がそろっている場合。

不良：作業現場が狭く、掘削深さが最適でなく、地山が固く、かつ連続作業が困難で作業妨害が多い等の不良な現場条件がそろっている場合。

普通：作業現場の広さ、掘削深さ、地山の固さ、作業妨害の影響などの現場条件が中位と考えられる場合。

3　破砕岩とは、中硬岩及び硬岩を破砕したものをいう。

4　地山の掘削・積込みは、地山の掘削及び掘削・積込みの作業に適用する。

5　ルーズな状態の積込みは、掘削により仮置きされた土砂等の積込、転圧・締固めを伴わない埋戻しの作業等に適用する。

(2) **単価表**

名　　称	規　　格	単　位	数　量	摘　　要
バックホウ（クローラ型）運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3) 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値) 山積0.8m3(平積0.6m3)	日	100/D	表1.1
計				

備考　D：日当たり施工量

(3) 機械運転単価表　　(運転日当たり)

機　械　名	規　　格	指　定　事　項	適用機械工歩掛
バックホウ（クローラ型）(掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45m3(平積0.35m3)	運転労務数量→1.00（供用日） 燃料消費量→58~~62~~ 機械損料数量→1.54~~1.52~~	02－01－280 02－01－295
バックホウ（クローラ型）(掘削・積込み、積込み)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8m3(平積0.6m3)	運転労務数量→1.00（供用日） 燃料消費量→94~~100~~ 機械損料数量→1.47~~1.46~~	02－01－310 02－01－325

ルーズな状態の積込	林道工事における5,000m3未満	ー	バックホウ(クローラ型)運転	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.45m3(平積0.35m3)	砂・砂質土・粘性土・礫質土~~・軟岩(Ⅰ)A~~	m3	90	70
					岩塊・玉石・破砕岩	m3	70	48
	10,000 m3未満	あり	バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	砂・砂質土・粘性土・礫質土~~・軟岩(1)A~~	m3	122	94
					岩塊・玉石・破砕岩	m3	94	65
		なし		標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値) 山積0.80m3(平積0.6m3)	砂・砂質土・粘性土・礫質土~~・軟岩(1)A~~	m3	211	162
					岩塊・玉石・破砕岩	m3	162	113
	10,000 m3以上50,000 m3未満	あり		標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	砂・砂質土・粘性土・礫質土~~・軟岩(1)A~~	m3	143	110
					岩塊・玉石・破砕岩	m3	110	76
		なし		標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値) 山積0.80m3(平積0.6m3)	砂・砂質土・粘性土・礫質土~~・軟岩(1)A~~	m3	248	190
					岩塊・玉石・破砕岩	m3	190	133

(注) 1　制限の内容
制限あり：狭隘で旋回範囲に制限がある場合
制限なし：上記以外の場合

2　現場条件の内容
障害なし：作業現場が広く、地盤が緩んでいて、しかも作業妨害が少なく連続作業が可能等の条件がそろっている場合。または、掘削深が最適でも地山が固い場合又は掘削深さが最適でなくても土が緩んでいる場合等、下記の障害ありに該当しない場合。
障害あり：作業現場が狭く、掘削深さが最適でなく又は地山が固く、かつ連続作業が困難で作業妨害が多い等の条件がそろっている場合。床掘作業で土留矢板、切梁・腹起し、基礎杭等があって作業妨害となる場合。

3　破砕岩とは、中硬岩及び硬岩を破砕したものをいう。

4　林道工事における施工土量が5,000㎥以上の場合は、上表の施工土量による日当たり施工量を適用する。

5　林道工事以外で施工土量が5,000㎥未満の場合は、上表の施工土量10,000㎥未満の日当たり施工量を適用する。

(2) **単価表**

名　　称	規　　格	単　位	数　量	摘　　要
バックホウ(クローラ型)運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3) 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値) 山積0.8m3(平積0.6m3) 後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)山積0.45m3(平積0.35m3)	日	100/D	表2.1
計				

備考　D：日当たり施工量

(3) 機械運転単価表　　（運転日当たり）

機　械　名	規　格	指　定　事　項	適用機械工歩掛
バックホウ（クローラ型）（掘削、積込）	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45m3(平積0.35m3)	運転労務数量→1.00（供用日） 燃料消費量→58~~62~~ 機械損料数量→1.47~~1.46~~	02－01－285 02－01－296
バックホウ（クローラ型）（掘削、積込）	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8m3(平積0.6m3)	運転労務数量→1.00（供用日） 燃料消費量→94~~100~~ 機械損料数量→1.42~~1.41~~	02－01－315 02－01－326
バックホウ（クローラ型）（掘削、積込）	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)山積0.45m3(平積0.35m3)	運転労務数量→1.00（供用日） 燃料消費量→65~~69~~ 機械損料数量→1.49~~1.48~~	02－01－287 02－01－297

01－01－220　片切掘削（人力併用機械掘削）(SPR209、SPK104)

1　機種の選定

表1.1　機種の選定

作業内容	機　種	規　格	単　位	数　量
狭隘で旋回範囲に制限がある場合	バックホウ（クローラ型）	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)山積0.45m3(平積0.35m3)	台	1
上記以外の場合	バックホウ（クローラ型）	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値)山積0.8m3(平積0.6m3)	台	1
林道工事	バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.45m3(平積0.35m3)	台	1

2　日当たり作業量

日当たり作業量は、次のとおりとする。

表2.1　日当たり作業量

制限の有無	機　種	規　格	土　質　名	単位	数　量	
					山地治山工	一般土工
あり	バックホウ（クローラ型）	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)山積0.45m3(平積0.35m3)	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m3	61	116
			岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A	m3	45	87
なし	バックホウ（クローラ型）	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)山積0.8m3(平積0.6m3)	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m3	110	233
			岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A	m3	81	175
林道工事	バックホウ（クローラ型）	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.45m3(平積0.35m3)	砂・砂質土・粘性土・礫質土	m3	108~~116~~	
			岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A	m3	81~~87~~	

（注）１　制限の内容
　　制限あり：狭隘で旋回範囲に制限がある場合
　　制限なし：上記以外の場合
　　２　本歩掛は掘削までとし、法面整形は含まない。

3　労務歩掛

労務歩掛は、次のとおりとする。

表2.2　労務歩掛　　（10m3当たり）

制限の有無	名　称	土　質　名	単　位	数　量	
				山地治山工	一般土工
あり	普通作業員	砂・砂質土・粘性土・礫質土	人	0.16	0.17
		岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A	人	0.22	0.25
なし		砂・砂質土・粘性土・礫質土	人	0.12	0.11
		岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A	人	0.16	0.16
林道工事	普通作業員	砂・砂質土・粘性土・礫質土	人	0.18~~0.17~~	
		岩塊・玉石・軟岩（Ⅰ）A	人	0.26~~0.25~~	

（注）1　制限の内容

制限あり：狭隘で旋回範囲に制限がある場合

制限なし：上記以外の場合

2　本歩掛は掘削までとし、法面整形は含まない。

4　単価表

名　称	規　格	単　位	数　量	摘　要
普通作業員		人		表2.2
バックホウ（クローラ型）運転	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45m3（平積0.35m3） 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8m3（平積0.6m3） 後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）山積0.45m3（平積0.35m3）	日	10/D	表2.1
計				

備考　D：日当たり施工量

5　機械運転単価表

(1) 山地治山工

機械名	規格	指定事項	適用機械工歩掛
バックホウ（クローラ型）（片切掘削）	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45m3（平積0.35m3）	運転労務数量→1.00（供用日） 燃料消費量→58~~62~~ 機械損料数量→1.56~~1.54~~	02－01－350
バックホウ（クローラ型）（片切掘削）	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8m3（平積0.6m3）	運転労務数量→1.00（供用日） 燃料消費量→94~~100~~ 機械損料数量→1.45~~1.44~~	02－01－340

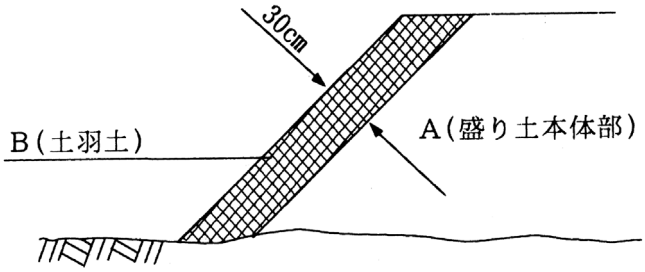
(2) 一般土工

機械名	規格	指定事項	適用機械工歩掛
バックホウ（クローラ型）（片切掘削）	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.45m3（平積0.35m3）	運転労務数量→1.00（供用日） 燃料消費量→58~~62~~ 機械損料数量→1.45~~1.44~~	02－01－355
バックホウ（クローラ型）（片切掘削）	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）山積0.8m3（平積0.6m3）	運転労務数量→1.00（供用日） 燃料消費量→94~~100~~ 機械損料数量→1.54~~1.52~~	02－01－345

(3) 林道工事

機械名	規格	指定事項	適用機械工歩掛
バックホウ（クローラ型）（片切掘削）	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）山積0.45m3（平積0.35m3）	運転労務数量→1.00（供用日） 燃料消費量→65~~69~~ 機械損料数量→1.52~~1.50~~	02－01－357

土羽打工断面



01－01－530　機械切土法面整形（SPA501）

表5.3　機械切土法面整形歩掛

（100m2当たり）

名称 ＼ 土質		単位	砂・砂質土 粘性土	礫質土	岩塊・玉石 軟岩（Ⅰ）A
世話役		人	0.3	0.5	0.6
普通作業員		〃	2.0	2.1	3.1
バックホウ運転	排出ガス対策型・ｸﾛｰﾗ型山積0.28m3（平積0.20m3）（第２次基準値）	h	5.3	7.0	9.6
	排出ガス対策型・ｸﾛｰﾗ型山積0.45m3（平積0.35m3）（第２次基準値）		4.3	5.6	8.2
	排出ガス対策型・ｸﾛｰﾗ型山積0.8m3（平積0.6m3）（第２次基準値）		3.2	4.2	6.8
計					

備考１　本表には、残土の積込み・運搬及び法面保護は含まない。

２　二次法面整形を必要とする場合は、人力施工とする。

３　地形、作業条件の難易により、本表により難い場合は別途考慮~~積算~~する~~ことができる~~。

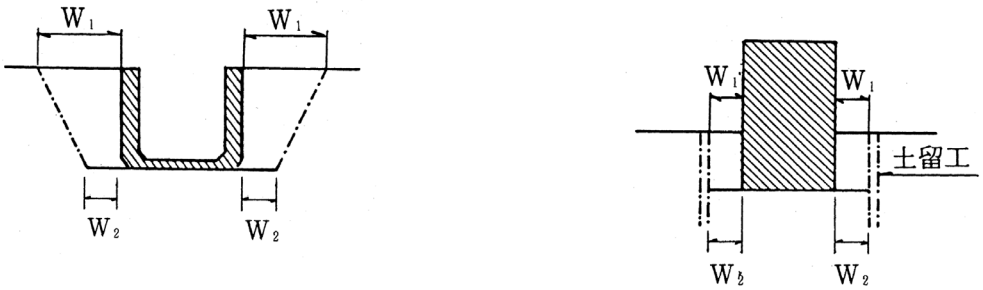


図2.1　埋戻し幅概念図

３　機械運転単価表

機　械　名	規　格	適用機械工歩掛	指　定　事　項
タ　ン　パ	60～80kg	02-01-385	運転労務数量→1.0 燃料消費量→5.2~~4.5~~ 機械賃料数量→1.38 主燃料→ガソリン 運転時間→5h／日

表１　運転１時間当たり燃料消費率（その１）

Ｎｏ	機械名	規格	燃料消費率 ℓ／kW－ｈ	摘要
1	ブルドーザ	湿地を含む	0.144	
2	リッパ装置付ブルドーザ			
3	小型バックホウ			
4	バックホウ	ホイール式・クローラ式		
5	クラムシェル			
6	クローラローダ			
7	ホイールローダ		0.144	
8	バックホウ（クローラ型）	ディーゼル／電気ハイブリッド型	0.124	
9	建設専用ダンプトラック		0.088	15ｔ以上
10	ダンプトラック		0.040	
11	トラック			クレーン~~式トラック~~装置付を含む
12	トレーラ		0.075	
13	不整地運搬車	クローラ型	0.114	
14	クローラクレーン		0.076	
15	トラッククレーン	ラチスジブ型・油圧伸縮ジブ型	0.045	オールテレーンクレーン含む
16	ラフテレーンクレーン		0.075	
17	ディーゼルパイルハンマ		7.648 ℓ/h-t	ｔはラム重量
18	バイブロハンマ	電動式	E0.305kWh/kW	
		油圧式・可変式	0.262	
19	杭打機（ベースマシン）		0.088	
20	杭打用ウォータージェット		0.192	
21	油圧ハンマ		0.181	
22	油圧式杭圧入引抜機		0.123	
23	アースオーガ中掘機		0.088	ベースマシン
24	クローラ式アースオーガ		E0.436kWh/kW	装置
25	粉体噴射攪拌機	二軸式		
		単軸式	E0.305kWh/kW	
		改良材供給機	E0.533kWh/kW	
26	オールケーシング掘削機	１エンジン（クローラ式）	0.181	
		２エンジン（クローラ式）	0.093	
		スキッド式	0.088	
27	泥排水処理装置	フィルタプレス式	E0.560kWh/kW	
28	グラウトポンプ		0.207	
29	グラウトミキサ		E0.613kWh/kW	
30	ボーリングマシン		0.151 E0.429kWh/kW	

Ｎｏ	機　械　名	規　格	燃料消費率 ℓ／kW－ｈ	摘　要
31	ドリルジャンボ	レール式	0.177 E0.415kWh/kW	
		クローラ式		
		ホイール式		
32	自由断面トンネル掘削機		E0.429kWh/kW	
33	ＮＡＴＭ機器集じん機		E0.700kWh/kW	
34	コンクリート吹付機	トンネル工事用	E0.466kWh/kW	
35	吹付ロボット			
36	モーターグレーダ		0.112	ヒータプレーナ装着型を含む
37	スタビライザ		0.115	
38	ロードローラ		0.128	
39	タイヤローラ		0.098	
40	振動ローラ（舗装用）	ハンドガイド式	0.266	
		搭乗式	0.184	
41	タンパ及びランマ		G0.398	
42	振動コンパクタ			
43	コンクリートプラント		E0.495kWh/kW	
44	ベントナイトミキサ			
45	トラックミキサ		0.059	
46	コンクリートポンプ車		0.066	
47	アスファルトフィニッシャ		0.152	加熱用燃料は含まない
48	ディストリビュータ		0.090	
49	コンクリートスプレッダ		0.122	
50	アグリゲートスプレッダ			
51	コンクリートフィニッシャ			
52	コンクリートレベラ			
53	フィニッシングスクリード			
54	コンクリートカッタ		G0.227	
55	ｱｽﾌｧﾙﾄｽﾌﾟﾚｰﾔ			
56	アスファルトカーバ			
57	路面切削機		0.166	
58	廃材積込機		0.218	
59	路上表層再生機		0.142	
60	路面安全溝切削機（グルービング機械）			
61	路面ヒータ（路上表層再生~~機組合せ~~用）		0.160	
62	路面清掃車		0.065	
63	ガードレール清掃車			
64	トンネル清掃車			
65	側溝清掃車		0.054	
66	排水管清掃車		0.037	
67	散水車			
68	高所作業車			
69	ガードレール支柱打込機		0.051	
70	草刈機	路肩カッタ付	0.073	
71	空気圧縮機	定置式・可搬式	0.159 E0.595kWh/kW	トンネル工事は別途
72	ブロア送風機（ファン）		0.156 E0.681kWh/kW	軸流ファン「反転軸流式・可変風量型」は除く

燃料消費量の算出例

0202　バックホウ

22　クローラ型・排出ガス対策型（第１次基準値）　060－１　山積0.8m3（平積0.6m3）の場合

別表第１損料算定の機関出力の欄　　運転１時間当たり燃料消費率（ℓ／kW－ｈ）

↓　　↓

104kW　×　0.175

≒18.200 → 18 ℓ／ｈ

↑

四捨五入

表１　運転１時間当たり燃料消費率（その２）

Ｎｏ	機械名	規格	燃料消費率 ℓ／kW－ｈ	摘要
1	レーキドーザ		0.175	
2	トラクタ	クローラ式		
3	スクレープドーザ			
4	タイヤドーザ			
5	モータスクレーパ		0.163	
6	泥上掘削機		0.175	
7	トレンチャ		0.152	
8	ダンプトラック	ガソリン	G0.071	
9	不整地運搬車	ホイール型	0.165	
10	タワークレーン		0.101 E0.305kWh/kW	
11	ジブクレーン		E0.305kWh/kW	
12	工事用エレベータ		~~0.108~~	
13	簡易ケーブルクレーン		0.108	
14	フォークリフト		0.037	
15	クローラ式 サンドパイル打機		0.085	ベースマシン
16	トラック式アースオーガ		0.053	
17	ラフテレーンクレーン 装着式アースオーガ		0.103	
18	アースドリル掘削機		0.093	
19	汚泥吸排車		0.055	
20	ニューマチックケーソン 施工機器（潜函用ショベル）		E0.600kWh/kW	
21	クーリングタワー		E0.700kWh/kW	
22	インナーバイブレータ	自走式	0.122	
23	コンクリートミキサ		E0.495kWh/kW	
24	法面締固機		0.167	
25	チップスプレッダ		0.127	
26	アスファルトクッカ		0.164	
27	コンクリート横取機		0.293	
28	振動目地切機		G0.233	
29	区画線消去機	ハンドガイド式		

Ｎｏ	機　械　名	規　格	燃料消費率 ℓ／kW－ｈ	摘　要
30	ラインマーカ	ペイント・ハンドガイド	G0.233	
		溶融自走式	0.068	
		ペイント車載式		
31	溶解槽			
32	排水性舗装機能回復車		0.063	
33	透光生遮音壁清掃車		0.040	
34	歩道清掃車			
35	排水管清掃車	ＣＮＧ	Ｃ0.043m3/kW-h	
36	小型多段遠心ポンプ		Ｅ0.900kWh/kW	
37	真空ポンプ		0.827kWh/kW	
38	両端固定式ケーブルクレーン		0.108	
39	油圧ジャッキ		Ｅ0.533kWh/kW	
40	コンクリート吹付機		Ｅ0.410kWh/kW	
41	種子吹付機		0.191	
42	エンジン付ミキサ		G0.162	
43	工事用高圧洗浄機		Ｅ0.900kWh/kW G0.255	
44	薬剤散布機		G0.103	
45	切断機		Ｅ0.305kWh/kW	
46	草結束機		G0.515	
47	木材破砕機		0.191	
48	自走式破砕機			
49	チェンソー		G0.38ℓ/h	左記は時間当たり燃料消費量である
50	ポンプ浚渫船		Ｅ1.217kWh/kW	
51	除雪ドーザ	クローラ型	0.166	
52	ロータリ除雪装置		0.141	ロータリ式88kW型ベースマシン (除雪ドーザ)

備考１　本表を使用して算定する燃料消費量は、次式により求める。
　　時間当たり燃料消費量＝機関出力×時間当たり燃料消費率
　２　時間当たり燃料消費量の数値は、有効数字の第３位を四捨五入し、有効数字２桁とする。
　３　日常の保守点検等に必要な油脂類及び消耗品等は、時間当たり燃料消費率に含むものとする。
　４　走行用エンジン及び作業用エンジンの双方を有する機械は、双方のエンジン出力を合算し機関出力とすること。
　５　本表のＧはガソリン、Ｅは電力、Ｃは圧縮天然ガス、印のないものは軽油である。

02－01　土工機械運転

02－01－010　ブルドーザ運転

3ｔブル　土砂・軟岩Ⅰ（A）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	4.20	29kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.20~~0.19~~	1／~~5.34~~4.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

02－01－030　ブルドーザ運転

3ｔブル　破砕岩（中硬岩・硬岩）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	4.20	29kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.20~~0.19~~	1／~~5.34~~4.9h
機械損料（＋0.25）	時　間	1.00	
計			

02－01－040　ブルドーザ運転

11ｔブル　土砂・軟岩Ⅰ（A）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	11.00	78kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.20~~0.19~~	1／~~5.34~~4.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

02－01－060　ブルドーザ運転

11ｔブル　破砕岩（中硬岩・硬岩）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	11.00	78kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.20~~0.19~~	1／~~5.34~~4.9h
機械損料（＋0.25）	時　間	1.00	
計			

02－01－070　ブルドーザ運転

15ｔブル　土砂・軟岩Ⅰ（A）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	14.00	100kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.20~~0.19~~	1／~~5.34~~4.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

02－01－090　ブルドーザ運転

15ｔブル　破砕岩（中硬岩・硬岩）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	14.00	100kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.20~~0.19~~	1／~~5.34~~4.9h
機械損料（＋0.25）	時　間	1.00	
計			

02－01－100　ブルドーザ運転

21ｔブル　土砂・軟岩Ｉ（Ａ）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	22.00	152kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.16	1／6.3h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

02－01－160　ブルドーザ運転

13ｔ湿地ブル　土砂・軟岩Ｉ（Ａ）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	11.00	78kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.20~~0.19~~	1／~~5.34~~4.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

02－01－190　ブルドーザ運転

16ｔ湿地ブル　土砂・軟岩Ｉ（Ａ）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	102kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.20~~0.19~~	1／~~5.34~~4.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

02－01－220　ブルドーザ運転

３ｔブル　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	24~~25~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.58~~1.56~~	指定事項　排出ガス対策型（第１次基準値）
計			

備考：01－01－040 盛土敷均しに適用する。

02－01－222　振動ローラ運転

コンバインド型　３～４ｔ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	17~~15~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.60	指定事項　排出ガス対策型（第3~~1~~次基準値）
計			

備考：01－01－045 盛土締固めに適用する。

02－01－224　振動ローラ運転

ハンドガイド式　0.8～1.1ｔ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	6.1~~5.3~~	指定事項
特殊作業員	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	日	1.44	指定事項
計			

備考：01－01－045 盛土締固めに適用する。

02－01－225　振動ローラ運転

ハンドガイド式　0.5～0.6ｔ（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	12	指定事項
特 殊 作 業 員	人	1.00	指定事項
機 械 賃 料	供用日	1.71	指定事項
計			

備考：01-01-030 林道事業における盛土（締固め）に適用する。

02－01－226　振動ローラ運転

搭乗式・コンバインド型　3～4ｔ（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機 械 賃 料	日	1.86	指定事項 排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-030 林道事業における盛土（締固め）に適用する。

02－01－230　タイヤローラ運転

８～20ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	7.00	71kW×0.098
運転手（特殊）	人	0.20	1／~~5.15~~5.0h
機 械 損 料	時　間	1.00	
計			

02－01－240　バックホウ運転

クローラ型　0.28m3(0.20m3)　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	5.90	41kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機 械 損 料	時　間	1.00	排出ガス対策型(第２次基準値)
計			

02－01－245　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)後方超小旋回　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	69	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機 械 損 料	供用日	1.64	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)
計			

備考：01-01-030 林道事業における盛土（敷均し）に適用する。

02－01－270　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	8.60	60kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機 械 損 料	時間	1.00	排出ガス対策型(第１次基準値)
計			

02－01－275　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　土砂・軟岩Ⅰ(A)　(時間)

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	8.60	60kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機　械　損　料	時間	1.00	排出ガス対策型(第２次基準値)
計			

02－01－280　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　標準型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　(日)

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	58~~62~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.54~~1.52~~	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-200 バックホウ掘削（治山事業）に適用する。

02－01－285　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　標準型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　(日)

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	58~~62~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.47~~1.46~~	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-210 バックホウ掘削（一般土工）に適用する。

02－01－287　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　後方超小旋回型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　(日)

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	65~~69~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.49~~1.48~~	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)
計			

備考：01-01-210 バックホウ掘削（一般土工：林道工事における5,000m3未満）に適用する。

02－01－290　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　破砕岩（中硬岩・硬岩）　(時間)

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	8.60	60kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機械損料(＋0.25)	時間	1.00	排出ガス対策型(第１次基準値)
計			

02－01－295　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　標準型　破砕岩（中硬岩・硬岩）　(日)

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	58~~62~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機械損料(＋0.25)	供用日	1.54~~1.52~~	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-200 バックホウ掘削（治山事業）に適用する。

02－01－296　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　標準型　破砕岩（中硬岩・硬岩）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	58~~62~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機械損料(＋0.25)	供用日	1.47~~1.46~~	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-210 バックホウ掘削（一般土工）に適用する。

02－01－297　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　後方超小旋回型　破砕岩（中硬岩・硬岩）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	65~~69~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機械損料(＋0.25)	供用日	1.49~~1.48~~	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)
計			

備考：01-01-210 バックホウ掘削（一般土工：林道工事における5,000m3未満）に適用する。

02－01－300　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機　械　損　料	時間	1.00	排出ガス対策型(第２次基準値)
計			

02－01－305　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機　械　損　料	時間	1.00	超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-03-240 人力併用機械掘削（片切）に適用する。

02－01－310　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　標準型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	94~~100~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.47~~1.46~~	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-200 バックホウ掘削（治山事業）に適用する。

02－01－315・02-15-500　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　標準型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	94~~100~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.42~~1.41~~	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-210 バックホウ掘削（一般土工）に適用する。

02－01－320　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　破砕岩（中硬岩・硬岩）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機械損料(＋0.25)	時間	1.00	排出ガス対策型(第２次基準値)
計			

02－01－325　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　標準型　破砕岩（中硬岩・硬岩）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	94~~100~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機械損料(＋0.25)	供用日	1.47~~1.46~~	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-200 バックホウ掘削（治山事業）に適用する。

02－01－326　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　標準型　破砕岩（中硬岩・硬岩）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	94~~100~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機械損料(＋0.25)	供用日	1.42~~1.41~~	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-210 バックホウ掘削（一般土工）に適用する。

02－01－340　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　標準型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	94~~100~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.45~~1.44~~	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-220 片切掘削（人力併用機械掘削：山地治山工）に適用する。

02－01－345　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　標準型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	94~~100~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.54~~1.52~~	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-220 片切掘削（人力併用機械掘削：一般土工）に適用する。

02－01－350　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　標準型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	58~~62~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.56~~1.54~~	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-220 片切掘削（人力併用機械掘削：山地治山工）に適用する。

02－01－355　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　標準型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　(日)

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	58~~67~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.45~~1.44~~	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(第３次基準値)
計			

備考：01-01-220 片切掘削（人力併用機械掘削：一般土工）に適用する。

02－01－357　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　後方超小旋回型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　(日)

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	65~~69~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.52~~1.50~~	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)
計			

備考：01-01-220 片切掘削（人力併用機械掘削：林道工事）に適用する。

02－01－360　バックホウ運転

クローラ型　0.80m3(0.60m3)　標準型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　(日)

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	94~~100~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.49~~1.48~~	指定事項 超低騒音型・排出ガス対策型（第３次基準値）
計			

備考：01－01－250 作業土工（床掘工）に適用する。

02－01－365　バックホウ運転

クローラ型　0.45m3(0.35m3)　標準型　土砂・軟岩Ⅰ(A)　(日)

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	58~~67~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.39~~1.38~~	指定事項 超低騒音型・ 排出ガス対策型（第３次基準値）
計			

備考：01－01－250 作業土工（床掘工）に適用する。

02－01－380　タンパ運転

60～80kg級（法面用）　(日)

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガ　ソ　リ　ン	ℓ	6.00	3.0kW×0.398×5.0時間
特殊作業員	人	1.00	
機　械　損　料	日	1.00	
計			5.0h／日運転

備考：01－02－320 人力盛土法面整形（土羽打）に適用する。

02－01－385　タンパ運転

60～80kg級　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガ　ソ　リ　ン	ℓ	5.20~~4.50~~	指定事項
特　殊　作　業　員	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	日	1.38	指定事項
計			

備考：01－01－600 機械埋戻工（林道事業）に適用する。

02－01－390　ベルトコンベア運転

エンジン駆動７ｍ（土工・法面用）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガ　ソ　リ　ン	ℓ	7.80	1.3ℓ（＝2.6kW×0.512）×6.0ｈ
			特殊作業員は作業歩掛に含む
機　械　損　料	日	1.00	
計			6.0h／日運転

02－01－400　空気圧縮機運転

（可搬式・エンジン掛）5.0m3／分　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	28.00	6.2ℓ（＝39kW×0.159）×4.5ｈ
機　械　賃　料	日	1.00	
計			4.5h／日運転

備考：01－03－110 火薬使用の岩石掘削（山地治山工）、01－03－230 火薬併用機械掘削（片切）、01－03－240 人力併用機械掘削（片切）、01－03－250 人力掘削（片切）に適用する。

02－01－410　空気圧縮機運転

（可搬式・エンジン掛）5.0m3／分　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	37.00	（39kW×0.159）×6.0ｈ
機　械　賃　料	日	1.00	
計			6.0h／日運転

備考：01－03－120 人力掘削（山地治山工）に適用する。

02－01－430　大型ブレーカ運転

600～800kg級　軟岩Ⅰ（Ｂ）・軟岩Ⅱ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	9.40	65kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機械損料（＋0.10）	時　間	1.00	バックホウ0.45m3(0.35m3) 超低騒音型 排出ガス対策型（第３次基準値）
機　械　損　料	日	0.17~~0.16~~	大型ブレーカ
計			

備考：01－03－130 大型ブレーカ掘削（山地治山工）に適用する。

02－01－440　大型ブレーカ運転

600～800kg級　中硬岩・硬岩　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	9.40	65kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機械損料（＋0.25）	時　間	1.00	バックホウ0.45m3(0.35m3)　超低騒音型　排出ガス対策型（第３次基準値）
機　械　損　料	日	0.17~~0.16~~	大型ブレーカ
計			

備考：01－03－130 大型ブレーカ掘削（山地治山工）に適用する。

02－01－450　大型ブレーカ運転

1300kg級　軟岩Ⅰ（B）・軟岩Ⅱ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機械損料（＋0.10）	時　間	1.00	バックホウ0.80m3(0.60m3)　超低騒音型　排出ガス対策型（第３次基準値）
機　械　損　料	日	0.17~~0.16~~	大型ブレーカ
計			

備考：01－03－130 大型ブレーカ掘削（山地治山工）、01－03－220 大型ブレーカ掘削（一般）に適用する。

02－01－460　大型ブレーカ運転

1300kg級　中硬岩・硬岩　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機械損料（＋0.25）	時　間	1.00	バックホウ0.45m3(0.35m3)　超低騒音型　排出ガス対策型（第３次基準値）
機　械　損　料	日	0.17~~0.16~~	大型ブレーカ
計			

備考：01－03－130 大型ブレーカ掘削（山地治山工）、01－03－220 大型ブレーカ掘削（一般）に適用する。

02－01－490　ササカッター運転

10PS　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガ　ソ　リ　ン	ℓ	8.00	
特殊作業員	人	1.00	
機　械　損　料	日	1.00	
計			5.4h／日運転

備考：01－02－100 ササカッター処理に適用する。

02－01－500　ウッドチッパー運転

30PS　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	23.0	
特殊作業員	人	1.00	
機　械　損　料	日	1.00	
計			5.4h／日運転

備考：01－02－110 ウッドチッパー処理に適用する。

02－03－250・260・270　ダンプトラック運転

10ｔ車（中硬岩・硬岩）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	9.80	246kW×0.040
運転手（一般）	人	0.17	1／5.9h
機械損料(+0.25)	時　間	1.00	
損　耗　費	時　間	1.00	良好、普通、又は不良
計			

02－03－280　不整地運搬車運転

４～５ｔ積・クローラ型油圧ダンプ式　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	11.00	98kW×0.114
運転手（特殊）	人	0.14	1／6.9
機　械　賃　料	日	0.32	排出ガス対策型（第１次基準値）2.18／6.9
計			6.9h／日運転

02－03－340・350・351　モノレール運転

（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	9.10~~9.00~~	6.0PS×0.253ℓ×6.0h／日
普通作業員	人	2.00	
計			積卸含む。
計			積卸含まず。

（複単は、運搬工に移動）

02－03－390　荷揚機運転

運搬延長＝50ｍ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
普通作業員	人	2.00	
機　械　損　料	日	1.00	本体　6.0h／日運転
機　械　損　料	日	1.00	レール
計			積卸含む。
計			積卸含まず。

（複単は、運搬工に移動）

02－03－400　ケーブルクレーン運転

「架設・撤去用」　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	22.00	48kw×0.108×4.3h
特殊作業員	人	1.00	
機　械　賃　料	日	1.00	ウインチ（別途計上）
計			4.3h／日運転

02－03－410　ケーブルクレーン運転

「コンクリート用」　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	28.00	48kw×0.108×5.3h
特殊作業員	人	1.00	
機　械　賃　料	日	1.00	ウインチ（別途計上）
計			5.3h／日運転

02－03－420　ケーブルクレーン運転

「諸資材・土工機械の分解組立用」　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	35.00	48kw×0.108×6.7h
特 殊 作 業 員	人	1.00	
機　械　賃　料	日	1.00	ウインチ（別途計上）
計			6.7h／日運転

02－03－430　不整地運搬車運転

６～７ｔ積・クローラ型油圧ダンプ式全旋回式　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	13.00	116kW×0.114
運転手（特殊）	人	0.14	1／6.9
機　械　賃　料	日	0.32	排出ガス対策型（第２次基準値）2.18／6.9
計			6.9h／日運転

02－03－440　不整地運搬車運転

１０～１１ｔ積・クローラ型油圧ダンプ式全旋回式　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	22.00	190kW×0.114
運転手（特殊）	人	0.14	1／6.9
機　械　賃　料	日	0.32	排出ガス対策型（第２次基準値）2.18／6.9
計			6.9h／日運転

02－03－441　小型不整地運搬車運転

２ｔ積・クローラ型油圧ダンプ式（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	2.60	23kw×0.114
運転手（特殊）	人	0.14	1／6.9
機　械　賃　料	日	0.32	排出ガス対策型（第１次基準値）2.18／6.9
計			6.9h／日運転

02－03－450　バックホウ運転

0.28m3(0.20m3)「ケーブルクレーンアンカー架設・撤去用」　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	5.90	41kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

02－04　コンクリート工機械運転

02－04－010　コンクリートポンプ車運転

ブーム式　90～110m3/h　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	13.00	199kW×0.066
運転手（特殊）	人	0.15~~0.14~~	1／~~6.96~~6.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

02－04－030　ケーブルクレーン運転

（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	35.00	48kW×0.108×6.7h
特殊作業員	人	1.00	
機　械　賃　料	日	1.00	ウインチ（別途計上）
計			6.7h／日運転

備考：04－09－700 治山ダム型枠の設置に適用する。

02－06　作工物機械運転

02－06－010　バックホウ運転

油圧クローラ型0.80m3(0.60m3)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	39.00~~41.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	0.58	指定事項
機　械　賃　料	供用日	0.79	指定事項 排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：06－01－100・150 基礎砕石工、06－01－300 基礎栗石工（敷き並べ）に適用する。

02－06－020　バックホウ運転

油圧クローラ型0.80m3(0.60m3)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	61.00~~65.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	0.90	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.00	指定事項 排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：06－01－200 裏込砕石工、06－01－400 裏込栗石工（かき込み）に適用する。

02－06－030　バックホウ運転

油圧クローラ型0.80m3(0.60m3)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	68.00~~72.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.00	指定事項 排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：06－01－300 基礎栗石工（敷き均し）に適用する。

02－06－040　バックホウ運転

油圧クローラ型0.80m3(0.60m3)　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	排出ガス対策型（第１~~２~~次基準値）
計			

備考：06－09 鋼製自在枠工、06－14－300 丸太枠工(2)木製ブロック積工、06－17 簡易鋼製土留工に適用する。

02－06－045　バックホウ運転

油圧クローラ型0.80m3(0.60m3)　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	排出ガス対策型（第１次基準値）
計			

備考：06－06 鉄線篭工に適用する。

02－06－046　バックホウ運転

油圧クローラ型0.50m3(0.45m3)　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	9.20	64kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	排出ガス対策型（第3~~1~~次基準値）
計			

備考：06－06 鉄線篭工に適用する。

02－06－050　バックホウ運転

油圧クローラ型0.45m3(0.35m3)　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	8.60	60kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	排出ガス対策型（第１次基準値）
計			

備考：06－06 鉄線篭工、06－09 鋼製自在枠工、06－17 簡易鋼製土留工に適用する。

02－06－060　バックホウ運転

油圧クローラ型0.8m3(0.60m3) クレーン機能付き2.9ｔ吊り（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	排出ガス対策型（第１次基準値）
計			

備考：06－09 鋼製自在枠工に適用する。

02－06－070　タンパ運転

60～80kg級　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガ　ソ　リ　ン	ℓ	6.00	(3.0kW×0.398) ×5.0ｈ
特殊作業員	人	1.00	
機　械　損　料	日	1.00	
計			

備考：06－17 簡易鋼製土留工、06－14－300 丸太枠工(2)木製ブロック積工に適用する。

02－06－100　クレーン付トラック運転

4～4.5ｔ積　2.9ｔ吊　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	5.30	132kw×0.040
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：06－23 ガードケーブル設置工に適用する。

02－06－120　支柱打込機運転

モンケン式400～600kg　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	6.50	(98+29)kw×0.051
運転手（一般）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.15~~5.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：06－23 ガードケーブル設置工に適用する。

02－06－160　小型バックホウ運転

油圧クローラ型0.08m3(0.06m3)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	4.70	(18kW×0.144) ×1.8h
特殊作業員	人	1.00	
機　械　損　料	日	1.00	
計			

備考：06－22－600 木製案内板等設置に適用する。

02－06－161　小型バックホウ運転

油圧クローラ型0.08m3(0.06m3)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	4.40	(18kW×0.144) ×1.7h
特殊作業員	人	1.00	
機　械　損　料	日	1.00	
計			

備考：06－22－610 木製標識板等設置に適用する。

02－06－170　ボーリングマシン運転

ロータリーパーカッション式　クローラタイプ81KW（エンジン式）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	74.00	(81kw×0.151) ×6.2h
機　械　損　料	日	1.00	
計			6.2h／日運転

備考：06－33-050 削孔工（高エネルギー吸収柵工）に適用する。

02－07　管渠工機械運転

02－07－020　バックホウ（クレーン機能付）運転

油圧クローラ型0.45m3(0.35m3)　2.9ｔ吊クレーン機能付　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	8.60	60kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：07－01－300 鉄筋コンクリート台付管設置、07－03－400 Ｌ型側溝布設、07－05－100 集水桝設置に適用する。

02－07－021　バックホウ（クレーン機能付）運転

油圧クローラ型0.28m3(0.2m3)　1.7ｔ吊クレーン機能付　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	40.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	日	1.64	指定事項
計			

備考：07－01－600 梯子土台設置に適用する。

02－07－040　バックホウ（クレーン機能付）運転

油圧クローラ型0.28m3(0.20m3)　1.7ｔ吊クレーン機能付　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	5.90	41kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8
機　械　損　料	時　間	1.00	排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：07－09－100 山腹水路工（集水桝）に適用する。

02－07－045　バックホウ（クレーン機能付）運転

油圧クローラ型0.28m3(0.20m3)　1.7ｔ吊クレーン機能付　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	37.00~~39.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.58~~1.56~~	指定事項　排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：07－09－100 山腹水路工（集排水路、明暗渠、暗渠）に適用する。

02－07－050　不整地運搬車運転

2.5ｔ積・クローラ型油圧ダンプ式　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	8.00~~10.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.66	指定事項　排出ガス対策型（第1~~2~~次基準値）
計			

02－08　基礎工機械運転

02－08－260　溶接機運転

電気溶接機（ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式最大溶接電流300A）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	27.00~~32.00~~	指定事項
機　械　損　料	日	1.00	指定事項
計			

備考：08－07－100 既製杭頭処理工に適用する。

02－08－270　杭破砕機運転

杭径300～600㎜用　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガ　ソ　リ　ン	ℓ	1.30	指定事項
機　械　損　料	日	1.00	指定事項
計			

備考：08－07－300 既製コンクリート杭のカットオフ工に適用する。

02－08－280　杭破砕機運転

杭径700～1000㎜用　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガ　ソ　リ　ン	ℓ	1.30	指定事項
機　械　損　料	日	1.00	指定事項
計			

備考：08－07－300 既製コンクリート杭のカットオフ工に適用する。

02－08－290　電動式バイブロハンマ杭打機運転

普通型60kw　ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ（油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型50～55ｔ吊）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	76.00~~69.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.31~~1.30~~	指定事項（バイブロハンマ　普通型60kw）
機　械　損　料	供用日	1.31~~1.30~~	指定事項（クローラクレーン50～55ｔ吊）
計			

備考：08－08－300 鋼矢板（H形鋼）工（バイブロハンマ工）に適用する。

02－08－300　電動式バイブロハンマ杭打機運転

普通型90kw　ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ（油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型50～55ｔ吊）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	76.00~~69.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.31~~1.30~~	指定事項（バイブロハンマ普通型90kw）
機　械　損　料	供用日	1.31~~1.30~~	指定事項（クローラクレーン50～55ｔ吊）
計			

備考：08－08－300 鋼矢板（H形鋼）工（バイブロハンマ工）に適用する。

02－08－302　電動式バイブロハンマ杭打機運転（ハット形鋼矢板用）

可変ﾓｰﾒﾝﾄ型60kw　ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ（油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型50～55ｔ吊）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	76.00~~69.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機械損料	供用日	1.31~~1.30~~	指定事項（バイブロハンマ可変ﾓｰﾒﾝﾄ型60kw）
機械損料	供用日	1.31~~1.30~~	指定事項（クローラクレーン50～55ｔ吊）
計			

備考：08－08－300 鋼矢板（H形鋼）工（バイブロハンマ工）に適用する。

02－08－304　電動式バイブロハンマ杭打機運転（ハット形鋼矢板用）

可変ﾓｰﾒﾝﾄ型90kw　ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ（油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型50～55ｔ吊）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	76.00~~69.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機械損料	供用日	1.31~~1.30~~	指定事項（バイブロハンマ可変ﾓｰﾒﾝﾄ型90kw）
機械損料	供用日	1.31~~1.30~~	指定事項（クローラクレーン50～55ｔ吊）
計			

備考：08－08－300 鋼矢板（H形鋼）工（バイブロハンマ工）に適用する。

02－08－310　油圧式バイブロハンマ杭打機運転

可変超高周波型・最大起振力473kN・242~~235~~kW　ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ（油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型50～55ｔ吊）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	473.00~~523.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機械損料	供用日	1.31~~1.30~~	指定事項（バイブロハンマ可変超高周波型242~~235~~kW）
機械損料	供用日	1.31~~1.30~~	指定事項（クローラクレーン2014年規制50～55ｔ吊）
計			

備考：08－08－300 鋼矢板（H形鋼）工（バイブロハンマ工）に適用する。

02－08－312　油圧式バイブロハンマ杭打機運転

可変超高周波型・最大起振力473kN・242~~235~~kW　ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ（油圧伸縮ジブ型25ｔ吊）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	484.00~~570.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機械損料	供用日	1.21~~1.20~~	指定事項（バイブロハンマ可変超高周波型242~~235~~kW）
機械損料	供用日	1.21~~1.20~~	指定事項（ラフテレーンクレーン第３次基準値25ｔ吊）
計			

備考：08－08－300 鋼矢板（H形鋼）工（バイブロハンマ工）に適用する。

02－08－314　油圧式バイブロハンマ杭打機運転（ハット形鋼矢板用）

可変超高周波型・最大起振力473kN・242~~235~~kW　ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ（油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型50～55ｔ吊）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	473.00~~523.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機械損料	供用日	1.31~~1.30~~	指定事項（バイブロハンマ可変超高周波型242~~235~~kW）
機械損料	供用日	1.31~~1.30~~	指定事項（クローラクレーン2014年規制50～55ｔ吊）
計			

備考：08－08－300 鋼矢板（H形鋼）工（バイブロハンマ工）に適用する。

02－08－320　杭打用ウォータージェット運転

エンジン式　ポンプ圧力14.7MPa　吐出量325ℓ／min　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	139.00~~120.00~~	指定事項
機　械　損　料	日	1.31~~1.30~~	指定事項
計			

備考：08－08－300 鋼矢板（H形鋼）工（バイブロハンマ工）に適用する。

02－08－500　大型ブレーカ運転

油圧クローラ 0.8m3(0.6m3)+600～800kg級ブレーカ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	62.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.40~~1.39~~	指定事項（バックホウ0.45m3（0.28m3））
機　械　損　料	供用日	1.40~~1.39~~	指定事項（大型ブレーカ600～800kg級）
計			

備考：08－06－100 機械木杭打工（大型ブレーカ）に適用する。

02－09　橋梁工機械運転

02－09－030　コンクリートポンプ車運転

ブーム式90～110m3/h　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	13.00	199kw×0.066
運転手（特殊）	人	0.15~~0.14~~	1／6.8~~6.9~~
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：09－05－520　ＰＣ桁架設工に適用する。

02－10　法面工機械運転

~~02－10－010　発動発電機運転~~

~~10(13)ＫＶＡ　（日）~~

~~種　　別~~	~~単　位~~	~~数　　量~~	~~摘　　要~~
~~軽　　油~~	~~ℓ~~	~~11.00~~	~~=（14kw×0.123）×6.4h~~
~~機　械　賃　料~~	~~日~~	~~1.00~~	~~=~~
~~計~~			~~6.4h／日運転~~

~~備考：10－06－360 植生用マット張工に適用する。~~

02－10－020　モルタルコンクリート吹付機運転

湿式・モータ駆動0.8～1.2m3/h　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：10-11-300 特殊配合モルタル吹付工、10-12-400 簡易吹付法枠工に適用する。

02－10－030　空気圧縮機運転

可搬式スクリューエンジン掛10.5～11m3／min　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	69~~87~~	指定事項
機　械　賃　料	日	1.71	指定事項　排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：10－12－400 簡易吹付法枠工（枠内吹付）に適用する。

02－10－040　発動発電機運転

45ＫＶＡ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	31~~86~~	指定事項
機　械　賃　料	日	1.71	指定事項　排出ガス対策型（第３次基準値）
計			

備考：10－12－400 簡易吹付法枠工（ラス張工、枠内吹付）に適用する。

02－10－050　ホイールローダ運転

普通・山積0.34m3（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	14.00~~15.00~~	指定事項
運転手（一般）	人	0.80~~1.00~~	指定事項
機　械　賃　料	日	1.58~~1.55~~	指定事項　排出ガス対策型（第2~~3~~次基準値）
計			

備考：10－12－400 簡易吹付法枠工に適用する。

02－10－120　発動発電機運転

25ＫＶＡ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	21.00	（23kw×0.123）×7.4h
機　械　賃　料	日	1.00	
計			7.4h／日運転

備考：10－10－560 植物発生材吹付工に適用する。

02－10－140　モルタルコンクリート吹付機運転

湿式・駆動0.8～1.2m3/h　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	55.00~~25.00~~	(18kw×0.410~~0.191~~)　×7.4h
機　械　損　料	供用日	1.00	
計			7.4h／日運転

備考：10－10－560植生発生材吹付工に適用する。

02－10－160　バックホウ運転

0.80m3（0.60m3）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.3~~5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：10－12－100 プレキャストコンクリート法枠工、10－07－100 特殊篭張工、10－10－800 すき取り土法覆基材工に適用する。

02－10－170　空気圧縮機運転

可搬式スクリューエンジン掛18.0～19.0m3／min　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	160.00	(140kw×0.159)　×7.4h
機　械　賃　料	日	1.00	
計			

備考：10－10－560植生発生材吹付工に適用する。

02－10－180　空気圧縮機運転

可搬式スクリューエンジン掛7.5～7.8m3／min　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	66~~78~~	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.75	指定事項
計			

備考：10－13－110削孔に適用する。

02－12　路盤工機械運転

02－12－010　振動ローラ運転

搭乗式・ダンデム型2.5～2.8ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	3.50	19kw×0.184
特殊作業員	人	0.23~~0.22~~	1／~~4.64~~4.4h
機械損料	時　間	1.00	
計			

備考：12－01－100 非舗装前提の路盤工、12－02－200 凍上抑制層（砂・火山灰）に適用する。

02－12－020　タンパ運転

60～80kg　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガソリン	ℓ	6.00	（3.0kw×0.398）×5.0h
特殊作業員	人	1.00	
機械損料	日	1.00	
計			5.0h／日運転

備考：12－01－100 非舗装前提の路盤工、12－02－200 凍上抑制層（砂・火山灰）に適用する。

02－12－030　タイヤローラ運転

8～20ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	7.00	71kw×0.098
運転手（特殊）	人	0.20	1／~~5.15~~5.0h
機械損料	時　間	1.00	
計			

備考：12－01－100 非舗装前提の路盤工、12－02－200 凍上抑制層（砂・火山灰）に適用する。

02－12－110　ブルドーザ運転

3ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	4.20	29kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.20~~0.19~~	1／~~5.34~~4.9h
機械損料	時　間	1.00	
計			

備考：12－01－100 非舗装前提の路盤工、12－02－200 凍上抑制層（砂・火山灰）に適用する。

02－12－120　ブルドーザ運転

15ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	14.00	100kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.20~~0.19~~	1／~~5.34~~4.9h
機械損料	時　間	1.00	
計			

備考：12－01－100 非舗装前提の路盤工、12－02－200 凍上抑制層（砂・火山灰）に適用する。

02－12－140　バックホウ運転

0.80m3（0.60m3）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：12－01－100 非舗装前提の路盤工、12－02－200 凍上抑制層（砂・火山灰）に適用する。

02－12－151　バックホウ運転

クローラ型　0.28m3(0.20m3)　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	5.90	41kW×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：12－03－410 砂利路盤工に適用する。

02－12－152　小型バックホウ運転

クローラ型　0.13m3(0.10m3)　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	21.00	(25kW×0.144) ×5.7h
運転手（特殊）	人	1.00	
機　械　損　料	日	1.00	排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：12－03－410 砂利路盤工に適用する。

02－12－153　振動ローラ運転

搭乗式コンバインド型3～4ｔ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00~~13.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.26	指定事項　排出ガス対策型（第3~~1~~次基準値）
計			

備考：12－03－410 砂利路盤工に適用する。

02－12－154　振動ローラ運転

ハンドガイド式　0.5～0.6ｔ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	3.5~~3.0~~	指定事項
特殊作業員	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.76~~1.74~~	指定事項
計			

備考：12－03－410 砂利路盤工に適用する。

02－12－160　モータグレーダ運転

ブレード幅3.1m　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	9.50	85kw×0.112
運転手（特殊）	人	0.20	1／5.1h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：12－08 瀝青路面安定処理工に適用する。

02－12－170　ロードローラ運転

マカダム両輪駆動10～12ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	7.20	56kw×0.128
運転手（特殊）	人	0.20	1／~~5.15~~5.0h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：12－08 瀝青路面安定処理工に適用する。

02－12－180　スタビライザー運転

幅1.7ｍ級　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	10.00	88kw×0.115
運転手（特殊）	人	0.21~~0.20~~	1／~~5.04~~4.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：12－08 瀝青路面安定処理工に適用する。

02－12－190　散水車運転

タンク容量5500～6500ℓ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	4.90	132kw×0.037
運転手（一般）	人	0.18	1／5.5h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：12－08 瀝青路面安定処理工に適用する。

02－12－200　チップスプレッダ付ダンプトラック運転

10ｔダンプ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	9.80	246kw×0.040
運転手（一般）	人	0.17	1／5.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	10ｔダンプ
タ　イ　ヤ　損　耗	時　間	1.00	普通
機　械　損　料	日	0.17	チップスプレッダ（テールゲート式）
計			

備考：12－08 瀝青路面安定処理工に適用する。

02－12－210　ディストリビュータ運転

自走式2000～3000ℓ　（日・時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	3.10	（8.0kw×0.090）×4.3h
運転手（一般）	人	1.00	
機　械　損　料	日	1.00	
トラック損料	h	4.30	普通型6～6.5ｔ積
日当たり計			
時間当たり計			4.3h／日運転

備考：12－08 瀝青路面安定処理工に適用する。

02－15　共通仮設費機械運転

02－15－010　バックホウ運転

0.45m3（0.35m3）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	8.60	60kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~5.86~~.3h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：15－20－300 機械除根に適用する。

02－15－020　バックホウ運転

0.80m3（0.60m3）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~5.86~~.3h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：15－01－100 土のう締切工、15－08 大型土のう設置工、15－20－300 機械除根に適用する。

02－15－040　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 25ＫＶＡ　作業時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	22.00~~26.00~~	指定事項
特殊作業員	人	0.14	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.20	指定事項　排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－045　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 35ＫＶＡ　作業時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	33.00~~38.00~~	指定事項
特殊作業員	人	0.14	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.20	指定事項　排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－070　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 60ＫＶＡ　作業時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	56.00~~66.00~~	指定事項
特殊作業員	人	0.14	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.20	指定事項　排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－090　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 100ＫＶＡ　作業時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	88.00~~104.00~~	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.14	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.20	指定事項　排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－120　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 25ＫＶＡ　常時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	67.00~~79.00~~	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.17	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項　排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－125　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 35ＫＶＡ　常時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	98.00~~115.00~~	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.17	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項　排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－150　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 60ＫＶＡ　常時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	168.00~~199.00~~	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.17	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項　排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－170　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動 100ＫＶＡ　常時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	264.00~~312.00~~	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.17	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項　排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－180　発動発電機運転

ガソリンエンジン駆動 ２ＫＶＡ　作業時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガ　ソ　リ　ン	ℓ	8.90~~9.00~~	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.14	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項
計			

備考：15－03－600 水替費（小口径）に適用する。

02－15－181　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動　５ＫＶＡ　作業時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	6.70~~7.90~~	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.14	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項
計			

備考：15－03－600 水替費（小口径）に適用する。

02－15－182　発動発電機運転

ガソリンエンジン駆動　２ＫＶＡ　常時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガ　ソ　リ　ン	ℓ	28.00	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.17	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項
計			

備考：15－03－600 水替費（小口径）に適用する。

02－15－183　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動　５ＫＶＡ　常時排水　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	20.00~~24.00~~	指定事項
特　殊　作　業　員	人	0.17	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項
計			

備考：15－03－600 水替費（小口径）に適用する。

02－15－190　ブルドーザ運転

15ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	14.00	100kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.20~~0.19~~	1／~~5.34~~4.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：15－05 仮設道に適用する。

02－15－195　バックホウ運転

0.80m3（0.60m3）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：15－05 仮設道、15－20－700 伐開物集積積込作業（機械）に適用する。

02－15－196　ブルドーザ運転

11ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	11.00	78kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.20~~0.19~~	1／~~5.34~~4.9h
機械損料	時　間	1.00	
計			

備考：15－05 仮設道、15－20－300 機械除根に適用する。

02－15－200　クレーン付トラック運転

4ｔ積　2.9ｔ吊　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	5.30	132kw×0.040
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機械損料	時　間	1.00	
計			

備考：15－07－500 仮設落石防護柵設置撤去に適用する。

~~02－15－210　草刈り機運転~~

~~肩掛式　1.3kW　（日）~~

~~種　　別~~	~~単　位~~	~~数　　量~~	~~摘　　要~~
~~混合油~~	~~ℓ~~	~~1.30~~	~~（1.3kw×0.500）×2.0h~~
~~機械損料~~	~~日~~	~~1.00~~	~~=~~
~~計~~			~~2.0h／日運転~~

~~備考：15－20－100 人力伐開に適用する。~~

02－15－230　ブルドーザ運転

15ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	14.00	100kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.20~~0.19~~	1／~~5.34~~4.9h
機械損料	時　間	1.00	
計			

備考：15－20－300 機械除根に適用する。

02－15－240　ブルドーザ運転

21ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	22.00	152kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.16	1／6.3h
機械損料	時　間	1.00	
計			

備考：15－20－300 機械除根に適用する。

02－15－250　潜水ポンプ運転

作業時排水（揚程15m以下）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機械賃料	供用日	1.20	指定事項（口径150mm）
機械賃料	供用日	1.20	指定事項（口径200mm）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－270　潜水ポンプ運転

常時排水（揚程15ｍ以下）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項（口径150mm）
機　械　賃　料	供用日	1.10	指定事項（口径200mm）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－290　ダンプトラック運転

10ｔ車　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	9.80	246kw×0.040
運転手（一般）	人	0.17	1／5.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
タイヤ損耗費	時　間	1.00	良好
計			

備考：15－20－800 伐開物運搬に適用する。

02－15－300　バックホウ運転

0.80m3（0.60m3）（掴み装置付）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	バックホウ
機　械　損　料	時　間	1.00	掴み装置
計			

備考：15－20－700 伐開物集積積込作業（機械）に適用する。

02－15－400　バックホウ（クレーン仕様）運転

0.80m3（0.60m3）クレーン機能付き2.9ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	104.00~~98.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.39	指定事項　排出ガス対策型（第３次基準値）
計			

備考：15－08 大型土のう設置工のうち製作・設置~~据付~~一連作業（バックホウによる据付）に適用する。

02－15－410　バックホウ（クレーン仕様）運転

0.80m3（0.60m3）クレーン機能付き2.9ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	119.00~~112.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.44	指定事項　排出ガス対策型（第３次基準値）
計			

備考：15－08 大型土のう設置工のうち製作・設置~~据付~~一連作業（ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝによる据付）に適用する。

02－15－420　バックホウ（クレーン仕様）運転

0.80m3（0.60m3）クレーン機能付き2.9ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	119.00~~112.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.44	指定事項　排出ガス対策型（第３次基準値）
計			

備考：15－08 大型土のう設置工のうち単独作業（製作）に適用する。

02－15－430　バックホウ（クレーン仕様）運転

0.80m3（0.60m3）クレーン機能付き2.9ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	94.00~~88.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.36	指定事項　排出ガス対策型（第３次基準値）
計			

備考：15－08 大型土のう設置工のうち単独作業（設置~~据付~~）に適用する。

02－15－440　バックホウ（クレーン仕様）運転

0.80m3（0.60m3）クレーン機能付き2.9ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	78.00~~74.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.26	指定事項　排出ガス対策型（第３次基準値）
計			

備考：15－08 大型土のう設置工のうち大型土のう撤去に適用する。

02－15－450　バックホウ（クレーン仕様）運転

0.80m3（0.60m3）クレーン機能付き2.9ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	40.00~~43.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	0.68	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.00	指定事項　排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：15－03－600 水替費（小口径）に適用する。

02－15－460　バックホウ（クレーン仕様）運転

0.80m3（0.60m3）クレーン機能付き2.9ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	65.00~~69.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.16	指定事項　排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：15－03 水替費に適用する。

02－15－470　バックホウ（クレーン仕様）運転

0.80m3（0.60m3）クレーン機能付き2.9ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	119~~日日~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.06	指定事項　排出ガス対策型（2014年規制~~第3次基準値~~）
計			

備考：15－06－300 仮設道敷鉄板に適用する。

02－15－600　クレーン装置付トラック運転

ベーストラック4ｔ積　吊能力2.9ｔ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	33	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.26	指定事項
計			

備考：15－23－100 クリーンルーム設置撤去に適用する。

02－15－610　クレーン装置付トラック運転

ベーストラック4ｔ積　吊能力2.9ｔ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	33	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.22	指定事項
計			

備考：15－23－200 負圧集塵装置設置撤去に適用する。

02－16　地すべり機械運転

02－16－010　ボーリングマシン運転

油圧式5.5ＫＷ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	5.30~~5.60~~	（5.5~~5.31~~kw×0.151）×6.4h
機　械　損　料	日	1.00	
計			6.4h／日運転

備考：16－01 小口径ボーリング工に適用する。

02－16－020　グラウトポンプ運転

横型単筒30～70ℓ／min　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	16.00	2.5×6.4h
機　械　損　料	日	1.00	
計			6.4h／日運転

備考：16－01 小口径ボーリング工に適用する。

02－16－030　小型渦巻ポンプ運転

可搬自吸式　口径80mm×揚程30ｍ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
ガ　ソ　リ　ン	ℓ	10.00	1.6ℓ/h×6.4h
機　械　損　料	日	1.00	
計			6.4h／日運転

備考：16－01 小口径ボーリング工に適用する。

02－16－040　発動発電機運転

45ＫＶＡ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	39.00	6.1ℓ/h×6.4h
機　械　賃　料	日	1.00	
計			6.4h／日運転

備考：16－01 小口径ボーリング工に適用する。

~~02－16－050　洗浄用高圧ポンプ運転~~

~~14.7ＭＰａ　エンジン式35～70ℓ／min　（日）~~

~~種　　別~~	~~単　位~~	~~数　　量~~	~~摘　　要~~
~~軽　　油~~	~~ℓ~~	~~28.00~~	~~指定事項~~
~~機　械　損　料~~	~~供用日~~	~~1.61~~	
~~計~~			

~~備考：16－01－700 集排水ボーリング孔洗浄工に適用する。~~

02－16－065　大口径ボーリングマシン運転

19ＫＷ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　損　料	供用日	1.34~~1.33~~	指定事項
計			

備考：16－03 大口径ボーリング工に適用する。

02－16－066　大口径ボーリングマシン運転

30ＫＷ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　損　料	供用日	1.34~~1.33~~	指定事項
計			

備考：16－03 大口径ボーリング工に適用する。

02－16－068　ウインチ運転

開放型（電動）・単胴・巻上能力2.8ｔ×30ｍ／分・巻取容量φ22×200ｍ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　損　料	日	1.42~~1.41~~	指定事項
計			

備考：16－03－400 やぐらの設置・撤去に適用する。

02－16－070　発動発電機運転

75ＫＶＡ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	37.00~~43.00~~	指定事項
機　械　賃　料	日	1.30	指定事項
計			

備考：16－03－400 やぐらの設置・撤去に適用する。

02－16－080　発動発電機運転

100ＫＶＡ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	60.00~~73.00~~	指定事項
機　械　賃　料	日	1.30	指定事項
計			

備考：16－03－400 やぐらの設置・撤去に適用する。

02－16－140　クラムシェル運転

テレスコピック式　クローラ型平積0.4m3　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	45.00~~43.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.41	指定事項
計			

備考：16－05 集水井工に適用する。

02－16－150　小型バックホウ運転

電動式クローラ型0.022m3（0.015m3）（Ｂ工法）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　損　料	供用日	1.48~~1.47~~	指定事項
計			

備考：16－05 集水井工に適用する。

02－16－160　小型バックホウ運転

電動式クローラ型0.022m3（0.015m3）（Ｃ工法）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　損　料	供用日	1.41~~1.40~~	指定事項
計			

備考：16－05 集水井工に適用する。

02－16－200　やぐら装置運転

鋼製φ60.5×4.0m　2.0ｔ吊　7.9KW　モータウインチ付　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　損　料	供用日	1.44~~1.43~~	指定事項
計			

備考：16－05 集水井工に適用する。

02－16－210　クレーン付トラック運転

クレーン装置付２ｔ積　2.9ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	21.00~~23.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.21~~1.20~~	指定事項
計			

備考：16－05 集水井工に適用する。

02－16－230　発動発電機運転

定格容量75ＫＶＡ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	51~~60~~	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.18	指定事項　排出ガス対策型（第１次基準値）
計			

備考：16－07 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）に適用する。

02－16－240　ウインチ運転

開放型（電動）・単胴・巻上能力2.8ｔ×30m／分・巻取容量φ22×200m　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　損　料	供用日	1.57~~1.56~~	指定事項
計			

備考：16－07 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）に適用する。

02－16－250　ラフテレーンクレーン運転

油圧伸縮ジブ型25ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	84~~102~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.03~~1.02~~	指定事項　排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：16－07 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）の鋼管杭・H形鋼杭建込用掘削機組立・分解に適用する。

02－16－255　ラフテレーンク レーン運転

油圧伸縮ジブ型25ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	84~~102~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.65~~1.63~~	指定事項　排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：16－07 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）の掘削用に適用する。

02－16－260　大口径ボーリングマシン運転

19ＫＷ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　損　料	供用日	1.29~~1.28~~	指定事項
計			

備考：16－07 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）に適用する。

02－16－270　大口径ボーリングマシン運転

30ＫＷ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　損　料	供用日	1.29~~1.28~~	指定事項
計			

備考：16－07 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）に適用する。

02－16－280　空気圧縮機運転

可搬式スクリューエンジン掛7.5～7.8m3／min　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	59~~66~~	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.33	指定事項
計			

備考：16－07 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）に適用する。

02－16－290　空気圧縮機運転

可搬式スクリューエンジン掛18～19m3／min　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	114~~156~~	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.33	指定事項
計			

備考：16－07 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）に適用する。

02－16－310　ダウンザホールハンマ運転

空圧式250～300mm　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　損　料	供用日	1.38~~1.37~~	指定事項
計			

備考：16－07 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）に適用する。

02－16－320　ダウンザホールハンマ運転

空圧式302～381mm　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　損　料	供用日	1.38~~1.37~~	指定事項
計			

備考：16－07 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）に適用する。

02－16－330　ダウンザホールハンマ運転

空圧式382～457㎜　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　損　料	供用日	1.38~~1.37~~	指定事項
計			

備考：16－07 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）に適用する。

02－16－340　ダウンザホールハンマ運転

空圧式508～762㎜　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
機　械　損　料	供用日	1.38~~1.37~~	指定事項
計			

備考：16－07 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）に適用する。

02－16－360　クローラクレーン運転

油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型50～55ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	60	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	供用日	1.09~~1.08~~	指定事項　排出ガス対策型（第２次基準値）
計			

備考：16－07 場所打杭工（ダウンザホールハンマ工）に適用する。

02－16－400　クローラクレーン運転

油圧式伸縮ジブ型4.9ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	12.00~~13.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.47	指定事項　排出ガス対策型（第3~~1~~次基準値）
計			

備考：16－05① 集水井工（ライナープレート土留工法　掘削土留Ａ工法）に適用する。

02－16－410　クローラクレーン運転

油圧式伸縮ジブ型4.9ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	16.00~~17.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.47	指定事項　排出ガス対策型（第3~~1~~次基準値）
計			

備考：16－05① 集水井工（ライナープレート土留工法　掘削土留Ｂ工法）に適用する。

02－16－420　クローラクレーン運転

油圧式伸縮ジブ型4.9ｔ吊　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	14.00~~15.00~~	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	供用日	1.47	指定事項　排出ガス対策型（第3~~1~~次基準値）
計			

備考：16－05① 集水井工（ライナープレート土留工法　昇降用設備・井戸蓋）に適用する。

02－17　保安林整備機械運転

02－17－010　草刈機運転

肩掛式　1.3ｋＷ　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
混　　合　　油	ℓ	5.20	（1.3kw×0.500）×8.0h
特　殊　作　業　員	人		別途計上
機　械　損　料	日	1.00	
計			8.0h／日運転

備考：17－01－010 筋刈地拵、17－01－020 全刈地拵、17－09－100 下刈に適用する。

02－17－020　レーキドーザ運転

11ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	13.00	76kw×0.175
運転手（特殊）	人	0.19~~0.17~~	1／~~5.95~~5.2h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計（時間当たり）	時　間		
計（分当たり）	分		

備考：17－01－030 レーキドーザ地拵、17－01－200 土坊主整地、17－01－220 倒木整理、17－01－230 稚樹及び根曲竹除去に適用する。

02－17－090　ブルドーザ運転

湿地10ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	10.00	71kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.20~~0.19~~	1／~~5.34~~4.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：17－01－210 谷地坊主除去に適用する。

02－17－100　レーキドーザ運転

湿地13ｔ　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	16.00	93kw×0.175
運転手（特殊）	人	0.13~~0.14~~	1／~~7.17~~7.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：17－01－230 稚樹及び根曲竹除去に適用する。

02－17－110　バックホウ運転

油圧クローラ型0.45m3（0.35m3）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	8.60	60kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：17－02－100 フィルター材敷設に適用する。

02－17－120　バックホウ運転

油圧クローラ型0.80m3（0.60m3）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	15.00	104kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.17~~0.16~~	1／~~6.35~~5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：17－02－100 フィルター材敷設に適用する。

02－17－130　クレーン付トラック運転

４ｔ積　2.9ｔ吊　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	5.30	132kw×0.040
運転手（特殊）	人	0.17	1／5.8h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：17－04－300 防風工（三角枠）に適用する。

02－17－190　チェンソー運転

鋸長500mm　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
混　合　油	ℓ	3.20	0.450ℓ/h×7h
機　械　損　料	日	1.00	
計			

備考：17－09－400 除伐、17－09－510 受光・本数調整伐に適用する。

02－17－200　アスウッドマシン運転

（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	43.00	指定事項
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　損　料	日	1.00	指定事項
計			

備考：17－11－120 木材チップ舗装に適用する。

02－17－210　ホイールローダ運転

1.3～1.4m3　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	43.00	(63kw×0.144) ×4.7h
運転手（特殊）	人	1.00	
機　械　損　料	日	1.00	
計			

備考：17－11－120 木材チップ舗装に適用する。

02－17－220　ホイールローダ運転

0.34～0.35m3　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	14.00	(21kw×0.144) ×4.7h
運転手（特殊）	人	1.00	
機　械　損　料	日	1.00	
計			

備考：17－11－120 木材チップ舗装に適用する。

02－17－230　ブルドーザ運転

3ｔ　土砂・軟岩Ⅰ（A）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	4.20	29kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.20~~0.19~~	1／~~5.34~~4.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：17－11－250 木材チップ機械敷均しに適用する。

02－17－240　ブルドーザ運転

11ｔ　土砂・軟岩Ⅰ（A）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	11.00	78kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.20~~0.19~~	1／~~5.34~~4.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：17－11－250 木材チップ機械敷均しに適用する。

02－17－250　ブルドーザ運転

15ｔ　土砂・軟岩Ⅰ（A）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	14.00	100kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.20~~0.19~~	1／~~5.34~~4.9h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：17－11－250 木材チップ機械敷均しに適用する。

02－17－260　ブルドーザ運転

21ｔ　土砂・軟岩Ⅰ（A）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	22.00	152kw×0.144
運転手（特殊）	人	0.16	1／6.3h
機　械　損　料	時　間	1.00	
計			

備考：17－11－250 木材チップ機械敷均しに適用する。

02－18　冬期施工機械運転

02－18－010　ホイールローダ運転

山積み1.3～1.4m3（バケット）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	44.00~~43.00~~	指定事項~~=(63kw×0.144)×4.7h~~
運転手（特殊）	人	1.00	指定事項
機　械　賃　料	日	4.73~~1.55~~	指定事項　排出ガス対策型（2011年規制）
計			

備考：~~18－02－300 工事区域内除雪、~~18－02－500 工事用道路除雪に適用する。

02－18－020　バックホウ運転

油圧クローラ型0.80m3（0.60m3）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	107.00~~15.00~~	指定事項~~104kw×0.144~~
運転手（特殊）	人	1.00~~0.16~~	指定事項~~1/6.3h~~
機　械　~~損~~賃　料	~~時間~~日	1.64~~1.00~~	指定事項　排出ガス対策型（2014年規制）
計			

備考：18-02-300 工事区域内除雪（平面部）、18－02－400 工事区域内除雪（作工物周辺、法面部）~~、18－09－100 計水工~~に適用する。

02－18－030　バックホウ運転

油圧クローラ型0.80m3（0.60m3）2.9t吊クレーン機能付き　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	18.00	指定事項
運転手（特殊）	人	0.25	指定事項
機　械　賃　料	日	1.02	指定事項 排出ガス対策型（2011年規制）
計			

備考：18－03－210 Ｐタイプの設置・撤去歩掛に適用する。

02－18－050　ジェットヒーター運転

126ＭＪ/h(30,100kcal/h)（小型構造物）　（日）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
灯　　油	ℓ	72.36	指定事項
機　械　賃　料	日	1.20	指定事項
計			

備考：18－05 小型構造物防寒工に適用する。

02－18－060　ジェットヒーター運転

126ＭＪ/h(30,100kcal/h)（無筋構造物 0℃以上）　（時間~~日~~）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
灯　　油	ℓ	2.30~~66.60~~	指定事項
機　械　賃　料	日	0.15~~1.20~~	指定事項
計			

備考：18－04 防寒養生費に適用する。

02－18－061　ジェットヒーター運転

126ＭＪ/h(30,100kcal/h)（~~鉄筋~~無筋構造物 0℃未満-5℃以上）　（時間~~日~~）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
灯　　油	ℓ	3.10~~54.72~~	指定事項
機　械　賃　料	日	0.15~~1.20~~	指定事項
計			

備考：18－04 防寒養生費に適用する。

02－18－062　ジェットヒーター運転

126ＭＪ/h(30,100kcal/h)（~~ブロック積~~無筋構造物 -5℃未満）　（時間~~日~~）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
灯　　油	ℓ	3.90~~72.36~~	指定事項
機　械　賃　料	日	0.15~~1.20~~	指定事項
計			

備考：18－04 防寒養生費に適用する。

02－18－063　ジェットヒーター運転

126ＭＪ/h(30,100kcal/h)（鉄筋構造物 0℃以上）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
灯　　油	ℓ	3.10	指定事項
機　械　賃　料	日	0.15	指定事項
計			

備考：18－04 防寒養生費に適用する。

02－18－064　ジェットヒーター運転

126ＭＪ/h(30,100kcal/h)（鉄筋構造物 0℃未満-5℃以上）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
灯　　油	ℓ	3.20	指定事項
機　械　賃　料	日	0.15	指定事項
計			

備考：18－04 防寒養生費に適用する。

02－18－065　ジェットヒーター運転

126ＭＪ/h(30,100kcal/h)（鉄筋構造物 -5℃未満）　（時間）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
灯　　油	ℓ	3.40	指定事項
機　械　賃　料	日	0.15	指定事項
計			

備考：18－04 防寒養生費に適用する。

~~02－18－070　発動発電機運転~~

~~ディーゼルエンジン駆動２．７／３ＫＶＡ（無筋構造物）　（日）~~

~~種　　別~~	~~単　位~~	~~数　　量~~	~~摘　　要~~
~~軽　　油~~	~~ℓ~~	~~9.10~~	~~（4kw×0.123）×18.5~~
~~機　械　損　料~~	~~日~~	~~1.20~~	~~指定事項~~
~~計~~			

~~備考：18－04 防寒養生費に適用する。~~

~~02－18－071　発動発電機運転~~

~~ディーゼルエンジン駆動２．７／３ＫＶＡ（鉄筋構造物）　（日）~~

~~種　　別~~	~~単　位~~	~~数　　量~~	~~摘　　要~~
~~軽　　油~~	~~ℓ~~	~~7.48~~	~~（4kw×0.123）×15.2~~
~~機　械　損　料~~	~~日~~	~~1.20~~	~~指定事項~~
~~計~~			

~~備考：18－04 防寒養生費に適用する。~~

02－18－072　発動発電機運転

ディーゼルエンジン駆動２．７／３ＫＶＡ（防寒養生~~ブロック積~~）　（時間~~日~~）

種　　別	単　位	数　　量	摘　　要
軽　　油	ℓ	0.49~~9.89~~	指定事項（4kw×0.123）~~×20.1~~
機　械　損　料	日	0.147~~1.20~~	指定事項
計			

備考：18－04 防寒養生費に適用する。

03－07－600(1)　ケーブルクレーン運搬　(SPB706)

表１．６　ケーブルクレーン運搬歩掛

勾配＝15°未満　バケット容量＝0.5m3

区分		規格・単位	支間長(下段は平均長)							
			75以下 50m	76～125 100m	126～175 150m	176～225 200m	226～275 250m	276～325 300m	326～375 350m	376～425 400m
最大積載量(設計)		kg	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175
主索径		(6×7)mm	22.4	22.4	24	24	26	26	28	28
支間長		m	50	100	150	200	250	300	350	400
主索長		m	90	140	190	240	290	340	390	440
巻上索長		m	130	180	230	280	330	380	430	480
巻上索径		(6×Fi(25) IWRC)mm	12	12	12	12	14	14	14	14
横行索長		m	150	250	350	450	550	650	750	850
横行索径		(6×Fi(25) IWRC)mm	12	12	12	12	14	14	14	14
クレーン能力		t	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
1回当たり所要時間	積卸	分	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	〃(諸資材)	〃	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	往復	〃	1.5	2.5	3.2	4.2	4.5	5.5	5.2	5.9
	吊上・吊下	〃	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7
	計	〃	6.2	7.2	7.9	8.9	9.2	10.2	9.9	10.6
	(下段諸資材)	〃	7.2	8.2	8.9	9.9	10.2	11.2	10.9	11.6
1日当たり運搬回数		回／日	51	44	40	35	34	31	32	30
(下段は諸資材)		〃	55	49	45	40	39	35	36	34
1日当たり運搬数量	生コンクリート	m3	25.5	22.0	20.0	17.5	17.0	15.5	16.0	15.0
	土砂・砂利等	m3	27.5	24.5	22.5	20.0	19.5	17.5	18.0	17.0
	諸資材	t	33.0	29.4	27.0	24.0	23.4	21.0	21.6	20.4
	土のう	m3	27.5	24.5	22.5	20.0	19.5	17.5	18.0	17.0
	丸太	m3	16.5	14.7	13.5	12.0	11.7	10.5	10.8	10.2
	木製型枠	m2	990.0	882.0	810.0	720.0	702.0	630.0	648.0	612.0
	生芝	m2	825.0	735.0	675.0	600.0	585.0	525.0	540.0	510.0

備考　コンクリートバケット代は含まれていないため、日当たり損料を日当たり運搬数量で除した金額を加算すること。

03－07－600(2)　ケーブルクレーン運搬(SPB706)

表１．７　ケーブルクレーン運搬歩掛

勾配＝15°以上　バケット容量＝0.5m3

区分		規格・単位	支間長(下段は平均長)							
			75以下 50m	76～125 100m	126～175 150m	176～225 200m	226～275 250m	276～325 300m	326～375 350m	376～425 400m
最大積載量(設計)		kg	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175	1,175
主索径		(6×7)mm	22.4	24	24	24	26	26	28	28
支間長		m	50	100	150	200	250	300	350	400
主索長		m	90	140	190	240	290	340	390	440
巻上索長		m	130	180	230	280	330	380	430	480
巻上索径		(6×Fi(25) IWRC)mm	12	12	12	12	14	14	14	14
横行索長		m	150	250	350	450	550	650	750	850
横行索径		(6×Fi(25) IWRC)mm	12	12	12	12	14	14	14	14
クレーン能力		t	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
1回当たり所要時間	積卸	分	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	〃(諸資材)	〃	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	往復	〃	1.5	2.5	3.2	4.2	4.5	5.5	5.2	5.9
	吊上・吊下	〃	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7
	計	〃	6.2	7.2	7.9	8.9	9.2	10.2	9.9	10.6
	(下段諸資材)	〃	7.2	8.2	8.9	9.9	10.2	11.2	10.9	11.6
1日当たり運搬回数		回／日	51	44	40	35	34	31	32	30
(下段は諸資材)		〃	55	49	45	40	39	35	36	34
1日当たり運搬数量	生コンクリート	m3	25.5	22.0	20.0	17.5	17.0	15.5	16.0	15.0
	土砂・砂利等	m3	27.5	24.5	22.5	20.0	19.5	17.5	18.0	17.0
	諸資材	t	33.0	29.4	27.0	24.0	23.4	21.0	21.6	20.4
	土のう	m3	27.5	24.5	22.5	20.0	19.5	17.5	18.0	17.0
	丸太	m3	16.5	14.7	13.5	12.0	11.7	10.5	10.8	10.2
	木製型枠	m2	990.0	882.0	810.0	720.0	702.0	630.0	648.0	612.0
	生芝	m2	825.0	735.0	675.0	600.0	585.0	525.0	540.0	510.0

備考　コンクリートバケット代は含まれていないため、日当たり損料を日当たり運搬数量で除した金額を加算すること。

３　現場取卸費　「20　施工パッケージ　No147　現場取卸（鋼桁）、~~No136　現場取卸（ＰＣ桁）、~~No148　現場取卸（鋼管杭）」による。

03－11－500　現場発生品及び支給品の運搬「20　施工パッケージ　No410　現場発生品及び支給品運搬」による。

03－11－600　大型車両の関係法令

１）道路を通行する運送車両は次の法令により制限を受ける。

イ．道路運送車両の保安基準（道路運送車両法）

ロ．車両制限令（道路法）

ハ．道路交通法施行令（道路交通法）

これら法令により定められた車両並びに積載貨物の大きさについては、下記に示すとおりであるが、一般的制限（無許可）を超える車両は特認車両として取扱われることになる。

各制限値を下に示す。

表1.1　法令による制限値

	車両制限令			道路運送車両の保安基準	道路交通法施行令
	一般的制限（無許可）		一般的な特認可能制度		
	高速自動車国道以外	高速自動車及び指定道路			
幅　（B）	2.5m	2.5m	3.5m	2.5m	車体幅
高　さ（H）	3.8m	3.8m	4.3m	3.8m	3.8m
長　さ（L）	12m	(18.0m) 12m	(18.0m) 16m	12m	自動車長×1.1
総重量（W）	20ｔ	20～25ｔ	個別審査	20ｔ	積載物の質量が制限積載質量以下
軸　　重	10ｔ	10ｔ	10ｔ	10ｔ	規定なし
輪　荷　重	5ｔ	5ｔ	5ｔ	5ｔ	〃
最小回転半径	12m	12m	12m	12m	〃

備考１　車両のみの寸法である。

２　（　）は、フルトレーラの場合である。

３　一般的な特認可能制度とは、２）ロ．でいうＣ条件程度までをいっている。ただし、総重量はＤ区分の条件となる。

４　車両制限令の一般的制限は無許可で運行できる限度である。

５　一般的制限を超える車両は特殊車両として道路管理者に通行許可の申請を行わねばならない。
この制限値は運行する経路により条件を異にする。

６　軸距（後輪車軸の軸間距離）に応じて車両総重量の最高限度を定めている。

２）車両制限令、特認車両の審査基準

イ．車両許可寸法の制限

・通行する道路の幅員から、車両の幅に制限を受ける。

・　　〃　　の高さから、車両の高さに制限を受ける。

・　　〃　　の曲線及び交差点により、車両の長さに制限を受ける。

・　　〃　　の橋、高架等により、車両質量に制限を受ける。

ロ．イ．により施行条件（Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ）が判定され、条件が付される。

運搬中の損料＝運搬される機械の供用１日あたり損料（円）×運搬に要する日数（日）
K’＝運搬される建設機械の運搬中の供用１日あたり損料（円）×L/（輸送速度×８）
L：運搬距離（km）
基地から現場までの片道距離とする。輸送速度：(30km/h)

（注）１．運搬に要する日数の端数処理は、小数第２位を四捨五入し、小数第１位止めとする。
２．運搬に要する日数は、運搬状況を勘案して決定する。なお、トラックによる輸送は、時速30km/hを標準とする。
３．分解・組立を要する重建設機械の積算に当たっては、重建設機械分解組立により積算すること。なお、重建設機械分解組立輸送については、運搬中の賃料（K）を含む。
４．油圧式杭圧入引抜機（鋼矢板ＶＬ・ⅥＬ・Ⅱｗ・Ⅲｗ・Ⅳｗ型用）の運搬が必要な場合は、別途考慮すること。

表1.1 基 本 運 賃 表

貨物自動車規格	機械名	規格	20km まで（円）	50km まで（円）	100km まで（円）	150km まで（円）	200km まで（円）	200kmを超え20kmまでを増毎に（円）
20t車以上30t 車まで	路面切削機	2.0m	71,000 ~~62,500~~	87,000 ~~76,000~~	112,000 ~~98,000~~	137,000 ~~120,500~~	163,000 ~~142,500~~	10,200 ~~8,900~~
	スタビライザ	深0.6m 幅2.0m						
	スタビライザ	深1.2m 幅2.0m						
	自走式破砕機	ｸﾗｯｼｬｰ寸法 開450mm幅925mm						
	油圧式杭圧入引抜機	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用						
	バックホウ（超ロングアーム型）	山積0.4m³ /平積0.3m³						
	各種	－						

（注）１.450kmを超える場合は別途考慮する。
２.誘導車、誘導員の費用を含む。

表1.2 建設機械運搬方法

機械名	規格	車載		備考
		車種	機械質量(t)	
路面切削機（ホイール式・廃材積込装備付）	2.0m	R	28.50	
スタビライザ（路床改良用）	深0.6m 幅2.0m	R	23.00	
スタビライザ（路床改良用）	深1.2m 幅2.0m	R	24.70	
自走式破砕機	ｸﾗｯｼｬｰ寸法 開450mm 幅925mm	R	30.00	
油圧式杭圧入引抜機（硬質地盤専用）	鋼矢板Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ型用	R	29.70	
バックホウ（超ロングアーム型）	山積0.4m³ /平積0.3m³	R	22.00	

（注）１.貨物自動車による運搬を計上する。
２.車載のＲはトレーラである。
３.本表に掲載のある建設機械については、分解・組立の必要はない。

2　施工歩掛

(1) 使用機械の規格選定

分解・組立に使用するクレーンは、次表を標準とする。

表2.1　クレーンの規格選定

機械区分	規格	分解組立用クレーン	
		名称	規格
バックホウ系 オールケーシング掘削機 （クローラ式） トンネル用機械	表1.1参照	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 （排出ガス対策型） （第２次基準値）	25ｔ吊
ブルドーザ	２１ｔ級以下	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 （〃）	25ｔ吊
	４４ｔ級以下		
クローラクレーン系	35ｔ吊以下 （ｸﾗﾑｼｪﾙ平積0.6m3含む）	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型 （〃）	25ｔ吊
	80ｔ吊以下 （ｸﾗﾑｼｪﾙ平積2.0m3含む）		
	150ｔ吊以下 （ｸﾗﾑｼｪﾙ平積3.0m3含む）		60ｔ吊
	300ｔ吊以下		
トラッククレーン	表1.1参照	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型　（〃）	70ｔ吊
クローラ式杭打機	質量 60ｔ以下	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型　（〃）	60ｔ吊
	質量100ｔ以下		
	質量150ｔ以下		
オールケーシング掘削機 〔スキッド式〕	~~表1.1参照~~	~~クローラクレーン 油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型 排出ガス対策型(第１次基準値)~~	~~60～65ｔ吊~~
	表1.1参照（本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型排出ガス対策型(第３次基準値)］70t吊を使用する場合）	クローラクレーン 油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型 排出ガス対策型(第３次基準値)	70ｔ吊
	表1.1参照（本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型排出ガス対策型(第３次基準値)］100t吊を使用する場合）	クローラクレーン 油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型 排出ガス対策型(第３次基準値)	100ｔ吊
	表1.1参照（本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型排出ガス対策型(2011年規制)］100t吊を使用する場合）	クローラクレーン 油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型 排出ガス対策型（2011年規制）	

備考１　上表に無い機種又は、現場条件等により上表により難い場合は別途選定することができる。

２　ラフテレーンクレーンは賃料とし、クローラクレーンは損料とする。

(2) 歩　　掛

分解組立１台１回当たり歩掛は、次表とする。

表2.2　歩　　掛

機械区分	規格区分	労務歩掛 特殊作業員 (人) 〔分解＋組立〕	クレーン運転歩掛 (日) 〔分解＋組立〕	運搬費等率 (%)	諸雑費率 (%)
ブルドーザ	21ｔ吊以下	2.8	2.1	155	21
	44ｔ級以下	4.6	3.4	153	21
バックホウ系	山積1.4m3以下 〔油圧ｸﾗﾑｼｪﾙﾃﾚｽｺﾋﾟｯｸ0.4m3以上0.6m3以下含む〕	2.7	1.4	250	24
	山積2.1m3以下	4.5	2.3	256	25
クローラクレーン系	35ｔ吊以下 〔クラムシェル平積0.6m3以下〕	3.0	0.8	444	22
	80ｔ吊以下 〔クラムシェル平積2.0m3以下〕	5.5	1.5	434	21
	150ｔ吊以下 〔クラムシェル平積3.0m3以下〕	11.3	3.1	315	15
	300ｔ吊以下	20.5	5.7	313	15
トラッククレーン	120ｔ吊以下	4.3	1.5	394	75
	160ｔ吊以下	5.7	1.9	409	78
	360ｔ吊以下	11.7	4.0	399	75
	550ｔ吊以下	20.9	7.1	401	76
クローラ式杭打機	60ｔ以下	8.6	2.1	163	2
	100ｔ以下	15.5	3.7	164	2
	150ｔ以下	23.5	5.6	163	2
ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ掘削機（クローラ式）	－	3.9	3.4	595	5
ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ掘削機（スキッド式）	~~－~~	~~4.9~~	~~11.9（h）~~	~~558~~	~~4~~
	（本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型排出ガス対策型（第３次基準値）］70t吊を使用する場合）	4.9	11.9（h）	490	4
	（本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型排出ガス対策型（第３次基準値）］100t吊を使用する場合）	4.9	11.9（h）	370	3
	（本体工事でクローラクレーン［油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽｼﾞﾌﾞ型排出ガス対策型（2011年規制）］100t吊を使用する場合）	4.9	11.9（h）	361	3

03－14　建設機械の自走による運搬工

建設機械器具の運搬については森林土木事業設計積算要領 第６請負工事費の積算基準 １請負工事費の積算（２）間接工事費 ア共通仮設費（ウ）運搬費で定められているところであるが、質量20t未満のクローラ式の建設機械が林道等を自走により搬入・搬出する場合は、次のとおりとする。

１　適用範囲

質量20t未満のクローラ式の建設機械を対象とし、ホイール式は対象としないものとする。

２　積算方法

自走による走行距離に応じた走行時間を機械運転経費として、共通仮設費の運搬費に積み上げ計上するものとする。

ア 対象機種 バックホウ（クローラ型）山積0.45㎥及びバックホウ（クローラ型）山積0.80㎥

イ 走行時間（ｔ）

$$t = \frac{2 \times L}{V \times 60} \quad (h)$$

Ｌ：自走する距離（ｍ）（片道距離とし、往路と復路が異なる場合は平均値とする。）
Ｖ：走行速度（ｍ／分）（対象機種の走行速度は、ＢＨ-0.45 及びＢＨ-0.80 共に 50ｍ／分（３㎞／ｈ）を標準とする。）

３　単価表

建設機械の自走による運搬（質量20t未満・クローラ式）１時間当たり単価表

名　　称	単　位	数　量	摘　　要
運転手(特殊)	人	１／Ｔ	
燃　料　費	Ｌ		
機 械 損 料	ｈ	１	ＢＨ-0.45 又はＢＨ-0.80
計			

Ｔ：対象機種の運転日当たり運転時間（6.3 時間とする）

４　その他

クローラ式建設機械の自走に伴い、林道等の路面を損傷させるおそれがある場合は、敷鉄板等による路面損傷防止対策の費用を別途計上すること。

04－01－450　施工概要

標準的な施工フローは、次のとおりとする。

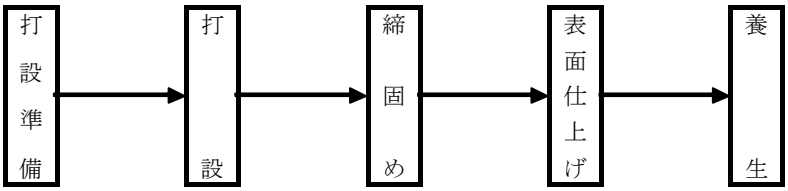


図1.3　施工フロー

04－01－500　投入打設機械

表1.1　打設投入機械

投入打設工法	機械名	規格
人力投入打設	ベルトコンベア シュート 人力運搬車 ケーブルクレーン	１・２輪車
コンクリートポンプ車 投入打設	トラック架装 ・ブーム式	90～110m3/h
バックホウ （クレーン機能付）打設	バックホウ （クローラ型）	標準型・超低騒音型・クレーン機能付 ・排出ガス対策型（第３次基準値） 山積0.8m3（平積0.6m3）吊能力2.9t
クレーン車~~類~~ ~~投入~~打設	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第１次基準値） 油圧伸縮ジブ型 〃　16ｔ吊 〃　20〃 〃　25〃 〃　35〃
	クローラクレーン	排出ガス対策型（第２次基準値） 油圧駆動式ウインチ・ラチズブ型 50ｔ吊

備考　現場条件等により本表により難い場合は、別途機種を選定する。

【参考】小型構造物クレーン車打設範囲

名称	規格	0.6m3バケット 打設範囲	
		打設高さ	水平打設距離
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型油圧伸縮ジブ型16ｔ吊	約17m以下	約17m以下
	排出ガス対策型油圧伸縮ジブ型20ｔ吊	約25m以下	約18m以下
	排出ガス対策型油圧伸縮ジブ型25ｔ吊	約25m以下	約20m以下
	排出ガス対策型油圧伸縮ジブ型35ｔ吊	約28m以下	約20m以下
クローラクレーン	排出ガス対策型（第２次基準値） 油圧駆動式ｳｲﾝﾁ･ﾗﾁｽﾞﾌﾞ型50ｔ吊	－	約30m以下

04－01－600　生コンクリート割増率

表1.1　コンクリート構造物の分類及び割増率

構造物種別	割増率
無筋構造物	７％
鉄筋構造物	３％
小型構造物	６％

04－02　人力投入打設

04－02－100　人力投入打設（SPX123）

「20　施工パッケージ　No.153~~154~~　コンクリート」による。

04－03　コンクリートポンプ車打設

1　機種の選定

コンクリートポンプ車の標準機種は、次表とする。

表１．１　機種の選定

機　　種	規　　格
コンクリートポンプ車	トラック架装・ブーム式　90～110m3/ｈ

2　施工歩掛

04－03－100　コンクリートポンプ車打設（SPX123）

(1) 無筋・鉄筋構造物コンクリートポンプ車打設歩掛（林道事業及び治山事業（山腹工））

「20　施工パッケージ　No.153~~154~~　コンクリート」による。

(2) 施工歩掛（治山事業（治山ダム工））（SPL101）

１）コンクリートポンプ車打設の標準打設労務歩掛は、次表とする。

表２．２　コンクリートポンプ車打設歩掛（治山事業（治山ダム工））

（人/10m3当たり）

区　　分		世　話　役	特殊作業員	普通作業員
打設（A）	無筋構造物	0.2	0.3(0.2)	0.8
	鉄筋構造物	0.2	0.5(0.4)	0.8
打設（B）	無筋構造物	0.3	0.6(0.5)	1.5
	鉄筋構造物	0.3	0.8(0.6)	1.5

備考１　打設区分は、以下のとおりとする。

打設（A）：設計日打設量30m3以上の場合に適用する。

打設（B）：設計日打設量30m3未満の場合に適用する。

２　上表には、ホースの筒先作業等を行う機械付補助労務を含む。なお、コンクリートポンプ車圧送料金について見積により積算する場合は、()書きの歩掛を適用する。

３　この歩掛には、30mまでの圧送管組立・撤去労務を含む。30mを超える圧送管組立・撤去を必要とする場合は04－03－200(2)の圧送管組立・撤去歩掛により計上する。

４　諸雑費は、バイブレータ・高周波発動発電機損料等の費用であり、上表の労務費、機械損料及び運転経費の合計額に下表の諸経費率を乗じた金額を上限として計上する。

表２．３　諸雑費率　　（%）

諸　雑　費　率
1

５　コンクリート養生費は、04－07のコンクリート養生工により別途積算する。ただし、防寒養生費を計上する場合は04－07のコンクリート養生工を計上しないこと。

２）コンクリートポンプ車打設の標準打設機械作業歩掛は、次表とする。

表２．４　コンクリートポンプ車打設の標準打設機械作業歩掛

条　　件		設　計　日　打　設　量　(m3)				
		30未満	30以上 45未満	45以上 60未満	60以上 100未満	100以上
標　準　日　打　設　量 (m3/日)		25	35	50	75	130
標準時間当たり 打　設　量 (m3/h)	無筋構造物	10.0	14.0	16.0	20.0	25.0
	鉄筋構造物	8.0	11.0	12.0	14.0	20.0

備考１　設計日打設量は、構造物ごとの標準日打設量とする。ただし、２つ以上の構造物のコンクリート打設を同時にできる場合は、これを一群と考えて標準日打設量を決定する。

２　標準時間当たりの打設量は、スランプ、骨材粒径、圧送高さ、圧送距離、圧送の連続性等の条件により、±20%の範囲内で増減することができる。

３　コンクリートポンプ車圧送料金

コンクリートポンプ車圧送を専門業者に外注する際に、該当する地域の専門業者の圧送料金（打設１回あたり）に、打設１回あたり固定の基本料金が設定されていること、打設量に応じて増える従量料金に最低限度の打設量が設定されていることなどの事由により、標準歩掛の適用が適当でない場合は、専門業者の圧送料金相当額を見積により積算することができる。

見積により積算する場合のコンクリートポンプ車圧送料金は、間接工事費等に相当する経費を含んだコンクリートポンプ車の運転・操作・筒先作業等の労務（原則２人）及びコンクリートポンプ車運転(1 台、付属機器を含む)に要する費用であり、設計日打設量(m3)に対応する打設１回当たりの単価とする。一般に、圧送料金の見積額は、打設１回あたり固定の基本料金、打設量に応じて増える従量料金である圧送料、諸経費として示される。なお、半日程度の作業、あるいは１回の打設量が少ない場合に最低保証の料金で見積もることになる場合は、当該見積額とする。

また、コンクリートポンプ車圧送料金（打設１回あたり）は、直接工事費に相当する部分と間接工事費等に相当する部分を分離して見積を徴収することが困難であることから、間接工事費等に相当する部分を含めた圧送料金として見積を徴収して計上する。なお、間接工事費等の積算においては、ヘリコプター飛行経費に準じて、計上した圧送料金を共通仮設費（率分）・現場管理費・一般管理費等の算定の対象額に含めないものとする。

04－03－110　コンクリートポンプ車打設（コンクリートポンプ車圧送料金による場合）

林野庁「治山林道必携（積算・施工編）」７森林整備保全事業標準歩掛の制定について第２編治山第２治山ダム工２－１－５コンクリートポンプ車打設歩掛（６）２）及び３）による。

04－03－200　コンクリートポンプ車圧送管組立・撤去（SPX123）

(1) 圧送管組立・撤去（林道事業及び治山事業（山腹工））

「20　施工パッケージ　No.153~~154~~　コンクリート」による。

(2) 圧送管組立・撤去（治山事業（治山ダム工））(SPL104)

コンクリートポンプからの作業範囲が30mを超える場合は、超えた部分の圧送管延長分について次表の労務を、組立・撤去歩掛として計上する。

表２．６　圧送管組立・撤去歩掛

(10m当たり)

延　長　(m)	普通作業員（人）	
	組立労務	撤去労務
150未満	0.5	0.4
150以上	0.3	0.3

備考１　この歩掛は、圧送管実延長が30m以上の部分に適用する。（１現場当たり１回仮設費とする）

04－04　クレーン車~~類投入~~打設

04－04－100　小型構造物クレーン車打設（SPX123）

「20　施工パッケージ　No.153~~154~~　コンクリート」による。

04－04－200　クレーン車打設（治山事業（治山ダム工））（SPL102）

1　適用範囲

本歩掛は、治山事業（治山ダム工）におけるクレーン車打設に適用する。

2　施工歩掛

表2.1　クレーン車打設歩掛（治山事業（治山ダム工））

（10m3当たり）

名　　称	単　位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
世　話　役	人	0.2	0.2	0.8
特殊作業員	〃	0.6	0.8	2.5
普通作業員	〃	0.7	0.9	3.3
ラフテレーンクレーン運転 （クローラクレーン運転）	日 （h）	0.20 （1.4）	0.27 （1.9）	0.79 （5.5）
諸雑費率	%	2	2	2

備考1　上表には、運搬バケットへのコンクリート積込及び玉掛作業等を行う機械付補助労務を含む。

2　ラフテレーンクレーンは、賃料とする。

3　諸雑費は、バイブレータ・コンクリートバケット損料及び電力に関する経費等の費用であり、上表の労務費、クレーン車の機械損料（ラフテレーンクレーンについては賃料）、運転経費の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。

4　コンクリート養生費は、04－07のコンクリート養生工により別途積算する。ただし、防寒養生費を計上する場合は04－07のコンクリート養生工により計上しないこと。

5　クローラクレーンを使用する場合は（　）書きの数量を適用し、単位は時間である。

04－06　打継面清掃（SPL301）

1　適用範囲

本歩掛は、平均厚さ1m程度以上のマッシブなコンクリート構造物を打継ぐ場合の打継面のレイタンス除去、水洗い等に適用する。なお、旧コンクリートに新たにコンクリートを打継ぐ場合の打継面処理（チッピング）は05－11－100を適用すること。

2　施工歩掛

04－06－100　打継面清掃

表2.1　打継面清掃歩掛　（10m3当たり）

名　　称	単　位	数　　量	摘　　要
世　話　役	人	0.02	
普通作業員	〃	0.10	
諸雑費率	%	12	

備考　諸雑費率は、高圧洗浄機、発動発電機等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

04－07　コンクリート養生工

04－07－100　コンクリート養生工（SPC105）

本表は、一般養生における歩掛であり、特殊養生には適用しない。なお、冬期養生については「18－04　防寒養生費」を適用する。

表1.1　コンクリート養生工歩掛

（10m3当たり）

名　　称	単　位	無筋構造物	鉄筋構造物	小型構造物
土木一般世話役	人	0.08	0.05	0.18
普通作業員	人	0.25	0.13	0.52
諸　雑　費	%	10	21	13
計				

備考１　本表は、一般養生による歩掛であり、特殊養生（電気養生、冬期養生等）を必要とする場合は、別途積算する。

２　普通作業員は、被覆、取除き、散水一切を含む。

３　諸雑費は、シート・養生マット、角材・パイプ、散水等に使用する機械の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に本表の率を乗じた金額を上限として計上する。

04－08　水抜きパイプ取付（SQ0401）

04－08－100　水抜きパイプ取付

表1.1　水抜きパイプ取付歩掛

（１箇所当たり）

名　　称	規　　格	単　位	20cm未満	20cm以上
水抜きパイプ	損耗量５％	m		
型　枠　工		人	0.04	0.08
計				

備考　本表は、04－09－700治山ダム型枠の設置・撤去歩掛を計上し、必要のある場合のみ適用する。

04－09　型枠工

１　型枠の選定基準

表1.1　型枠の選定基準

種　別	適　用　構　造　物　の　種　類
鉄筋構造物	・突桁式・扶壁式擁壁、橋台、橋脚、ボックスカルバート等の鉄筋量の多い構造物及びその他鉄筋量の多い構造物。
無筋構造物	・重力式擁壁、土留工、護岸工等のかなりマッシブな無筋構造物。 ・比較的単純な鉄筋を有する半重力式擁壁、土留工、橋台等の構造物。 ・コンクリート流路工、帯工。
小型構造物	・鍬止擁壁、土留工、護岸工、流路工等で最大高さ１m程度の構造物。 ・水路側溝、土留工、護岸工、流路工、なだれ防止柵の基礎等で、断面積が１m2以下で連続している構造物。 ・横断管渠の基礎、呑吐口の擁壁（ただし１m未満）、ガードケーブルの端末支柱基礎。 ・積ブロック天端、打止コンクリート。 ・コンクリート枠等のように比較的コンクリート量が少ない計上の複雑な構造物。 ・道路照明、標識、防護柵の基礎等の少量のコンクリート量で点在している構造物。
均し基礎	・樋門、樋管の均し、ボックスカルバートの均し、構造物の均し、雨水桝等の均し。 ・積ブロックの基礎。
治山ダム	04－09－700を参照。

04－09－400　一般型枠の製作・設置・撤去（SPX125）

「20　施工パッケージ　No.155~~156~~　型枠」による。

なお、型枠用合板に道産材を使用する場合は、コンクリート型枠用合板との差額を計上し、転用回数は鉄筋・無筋構造物は2.3回、小型構造物は１回を標準とする。

04－09－500　合板円形型枠の製作・設置・撤去（SPX125）
「20　施工パッケージ　No.155~~156~~　型枠」による。

04－09－600　均し基礎型枠の製作・設置・撤去（SPX125）
「20　施工パッケージ　No.155~~156~~　型枠」による。
　なお、型枠用合板に道産材を使用する場合は、コンクリート型枠用合板との差額を計上し、転用回数は１回を標準とする。

04－09－700　治山ダム型枠の設置・撤去（SPL103）

表1.1　治山ダム型枠の設置・撤去歩掛

（10m2当たり）

名　　称	規　　格	単　位	ケーブルクレーン	ケーブルクレーン以外
世　話　役		人	0.29	0.29
型　枠　工		〃	1.57	1.57
普通作業員		〃	1.36	1.36
諸　雑　費	上記労務費計×率	%	20.00	40.00
ケーブルクレーン運転		日	0.30	－
計				

備考１　本表は、渓間構造物のうち、~~堰堤、~~谷止工、床固工の本体等に適用する。ただし、治山ダムの増厚・嵩上げにかかる型枠工は、別途積算することができる。
~~なお、これ以外（一体化間詰、鉛直打継目等）の構造物は、一般型枠を適用する。~~
また、谷止工、床固工本体と一体的に施工する間詰、側壁等に適用するものとし、谷止工、床固工本体と分離して施工する場合には適用しないこと。
２　諸雑費は、型枠剤（鋼製又は合板）、型枠用金物、組立支持材、剥離剤及び電気ドリル、電動ノコギリ、電力、仮設材の持上（下）げ機械運転に要する費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じて得た金額を上限として計上する。
３　鋼製型枠材の最低使用日数は30日間、型枠用合板１枚当たりの使用回数は 2.3回、10m2 当たりの使用量は10m２/2.3回としている。
４　型枠用合板に道産材を使用する場合は、コンクリート型枠用合板との差額を計上する。
　なお、転用回数は2.3回を標準とする。

04－09－950　埋型枠（合板）歩掛
(1) 製　作　費

表1.1　埋型枠（合板）製作歩掛　（10m2当たり）

名　　称	規　　格	単　位	治　山　ダ　ム	一　　般
合　板　型　枠	0.9×1.8×0.012m	m2	10.00	10.00
角　　材		m3	0.08	0.08
洋　　釘		kg	0.92	0.92
小　　計				
損　　率		%	70	50
型　枠　工		人	0.57	0.57
普通作業員		〃	0.25	0.25
小　　計				
計				